
海陽町 教育振興計画策定に関する
アンケート調査
(保護者 A票)

－ 報 告 書 －

令和７年１１月

海陽町 教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
II	対象者の属性	2
1	アンケートを持ち帰った児童・生徒について	2
①	学年と性別	2
②	保護者の年齢	2
③	兄弟姉妹の有無	3
④	放課後の状況	3
III	集計結果	4
問1	子どもとの会話について	4
問2	会話の内容	5
問3	子どもの将来の夢や目標の有無	8
問3-1	夢や目標の内容	9
問4	子どもの自慢できるところ	11
問5	習い事について	15
問5-1	学習塾や英会話・英語塾に通う理由	19
問5-2	習い事をしない理由	22
問6	家庭での勉強について	25
問6-1	家庭での勉強時間	26
問7	家庭での読書について	27
問7-1	家庭での読書時間	28
問8	家庭での情報機器の使用について	29
問9	インターネットの利用に関する家庭内教育について	30
問10	インターネットの利用によるトラブルについて	31
問11	子育ての悩みや不安について	34
問12	悩みや不安の相談相手	37
問13	子どもの高校進学について	40
問13-1	子どもの高校進学をそのように考える理由	41
問14	子どもの将来の居住地について	44
問14-1	子どもの将来の居住地をそのように考える理由	45

I 調査の概要

- 1 調査時期：令和7年9月26日～10月10日
- 2 調査対象者：海南小学校、海部小学校、穴喰小学校4～6年生・海陽中学校、穴喰中学校1～2年生に在籍する児童・生徒の保護者（悉皆調査）
- 3 回収率等：

調査票	配布数	有効回収数	有効回収率
担任から児童・生徒を通じて保護者に配布	222 件	134 件	60.4% (うち、WEB 回答 48.5%)

4 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「未回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数です。

Ⅱ 対象者の属性

Ⅰ. アンケートを持ち帰った児童・生徒について

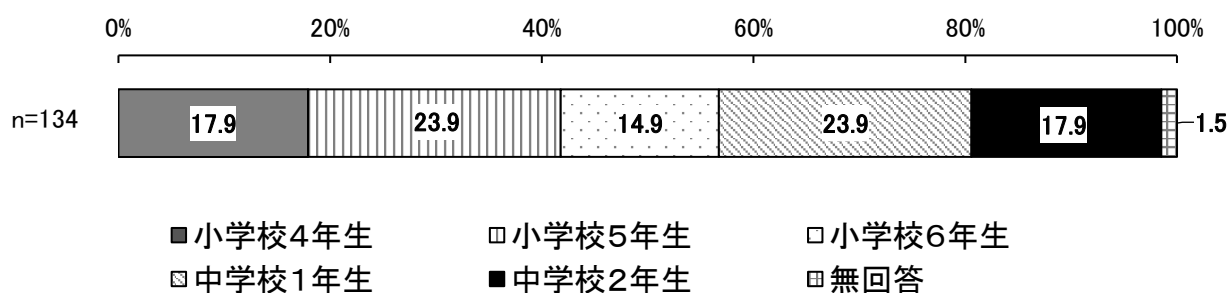
① 学年と性別

このアンケートを持ち帰ったお子さんの学年と性別を教えてください。（それぞれ 1 つに○）

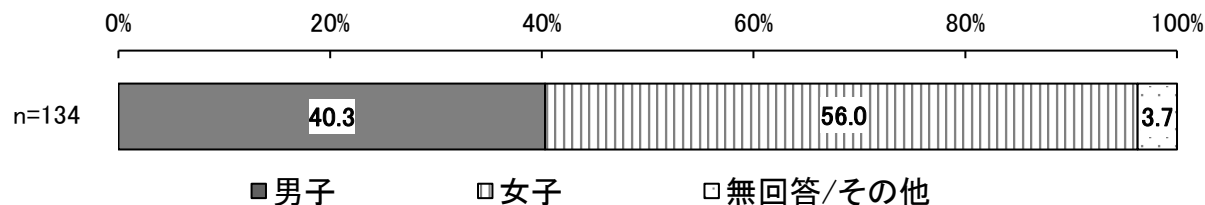
保護者の子どもの学年をみると、「小学4年生」17.9%、「小学5年生」23.9%、「小学6年生」14.9%、「中学1年生」23.9%、「中学2年生」17.9%となっています。

また、子どもの性別は、「男子」40.3%、「女子」56.0%となっています。

■ 学年



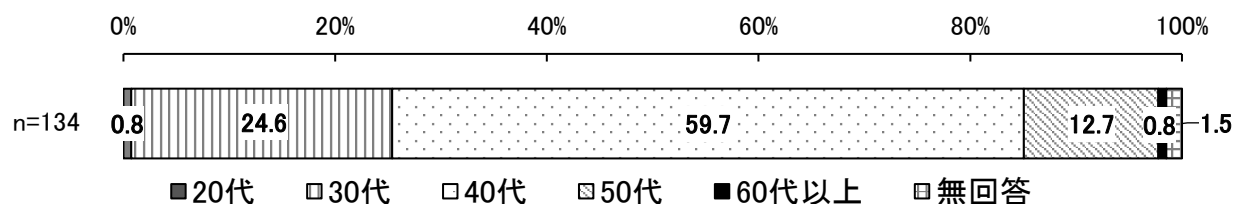
■ 性別



② 保護者の年齢

回答いただく保護者の方の年齢についてお答えください。（1つまで）

保護者の方の年齢は、上位から、「40代」59.7%、「30代」24.6%、「50代」12.7%、「20代」と「60代以上」が0.8%となっています。



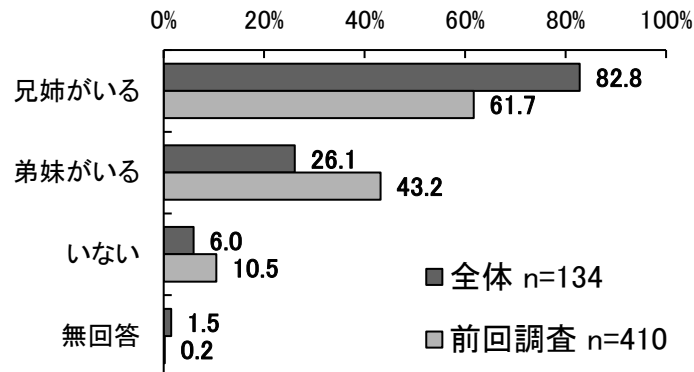
③ 兄弟姉妹の有無

お子さんには、兄弟姉妹はいますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者の子どもの立場から兄弟姉妹の有無をみると、「兄弟がいる」82.8%、「弟妹がいる」26.1%、「いない」が6.0%となっています。

前回調査と比較すると、「兄弟がいる」が21.1ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



④ 放課後の状況

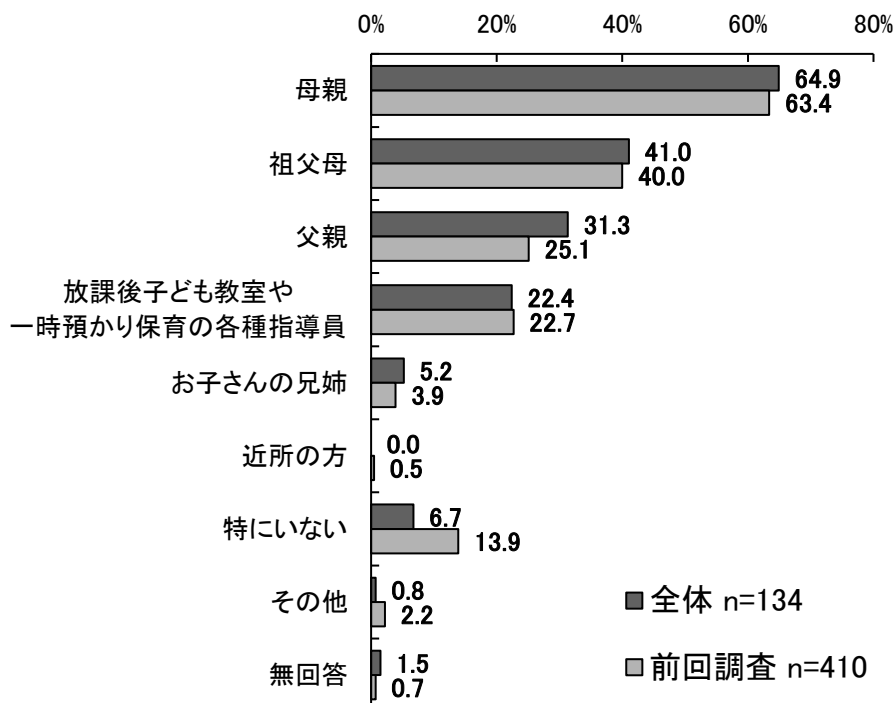
平日、こども園や学校が終わった後に、お子さんの世話をしている方は誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

平日、こども園や学校が終わった後に、保護者の子どもの世話をしている人をたずねたところ、上位から「母親」64.9%、「祖父母」41.0%、「父親」31.3%となっています。

前回調査と大きな違いはみられませんでした。

【全体・前回調査】



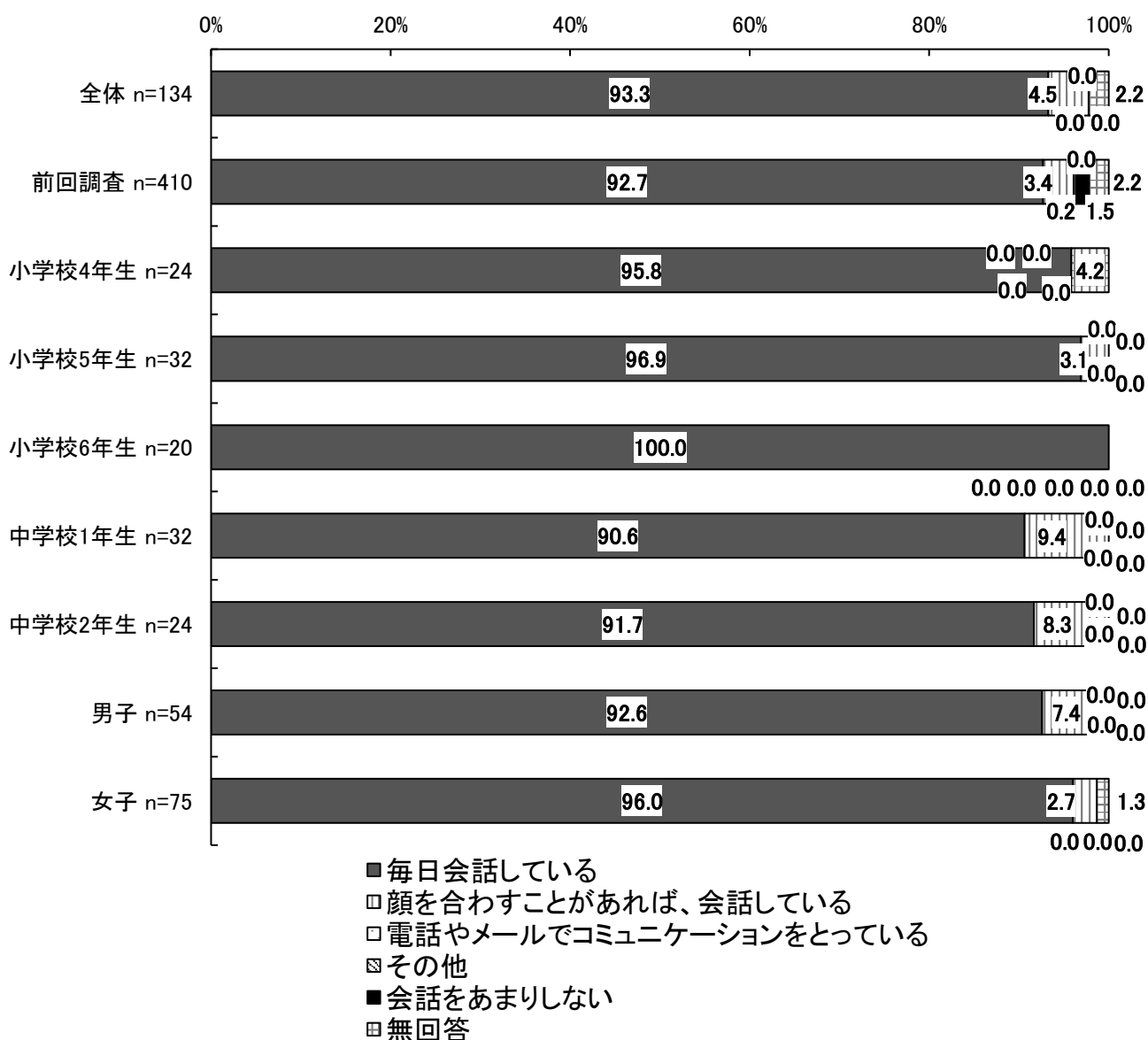
Ⅲ 集計結果

問Ⅰ 子どもとの会話について

あなたは、お子さんとどのくらい会話をしますか。(1つに○)

子どもとの会話について、全体では、「毎日会話をしている」が93.3%となっています。
また、前回調査と大きな違いはみられませんでした。
学年別にみても、すべてで「毎日会話をしている」が最も多くなっています。
一方で、「顔を合わすことがあれば、会話している」は、中学校1年生9.4%、中学校2年生8.3%と、小学校4～6年生に比べて割合は高くなっています。
性別でみると、「毎日会話をしている」は男子92.6%、女子96.0%と大きな違いはみられませんでした。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問2 会話の内容

あなたは、お子さんとどのような内容の話をよくしますか。（あてはまるものすべてに○）

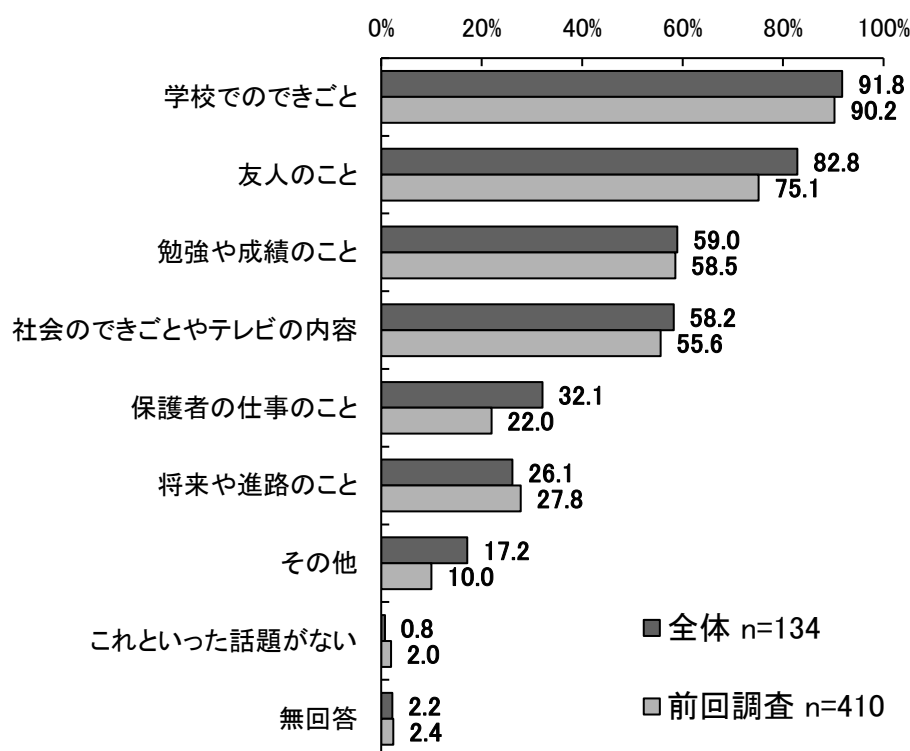
会話の内容について、全体では、上位から「学校でのできごと」91.8%、「友人のこと」82.8%、「勉強や成績のこと」59.0%、「社会のできごとやテレビの内容」58.2%となっており、50%を超えるのは以上の4項目です。

前回調査と比較すると、「保護者の仕事のこと」が10.1ポイント増加しています。

学年別でみると、小学校では「友人のこと」、「勉強や成績のこと」が、学年が上がるにつれて割合が高くなっています。中学校では「将来や進路のこと」が中学校1年生で40.6%と他の学年に比べて割合が高くなっています。

性別でみると、「将来や進路のこと」は、男子33.3%、女子20.0%であり、男子が13.3ポイント高くなっています。

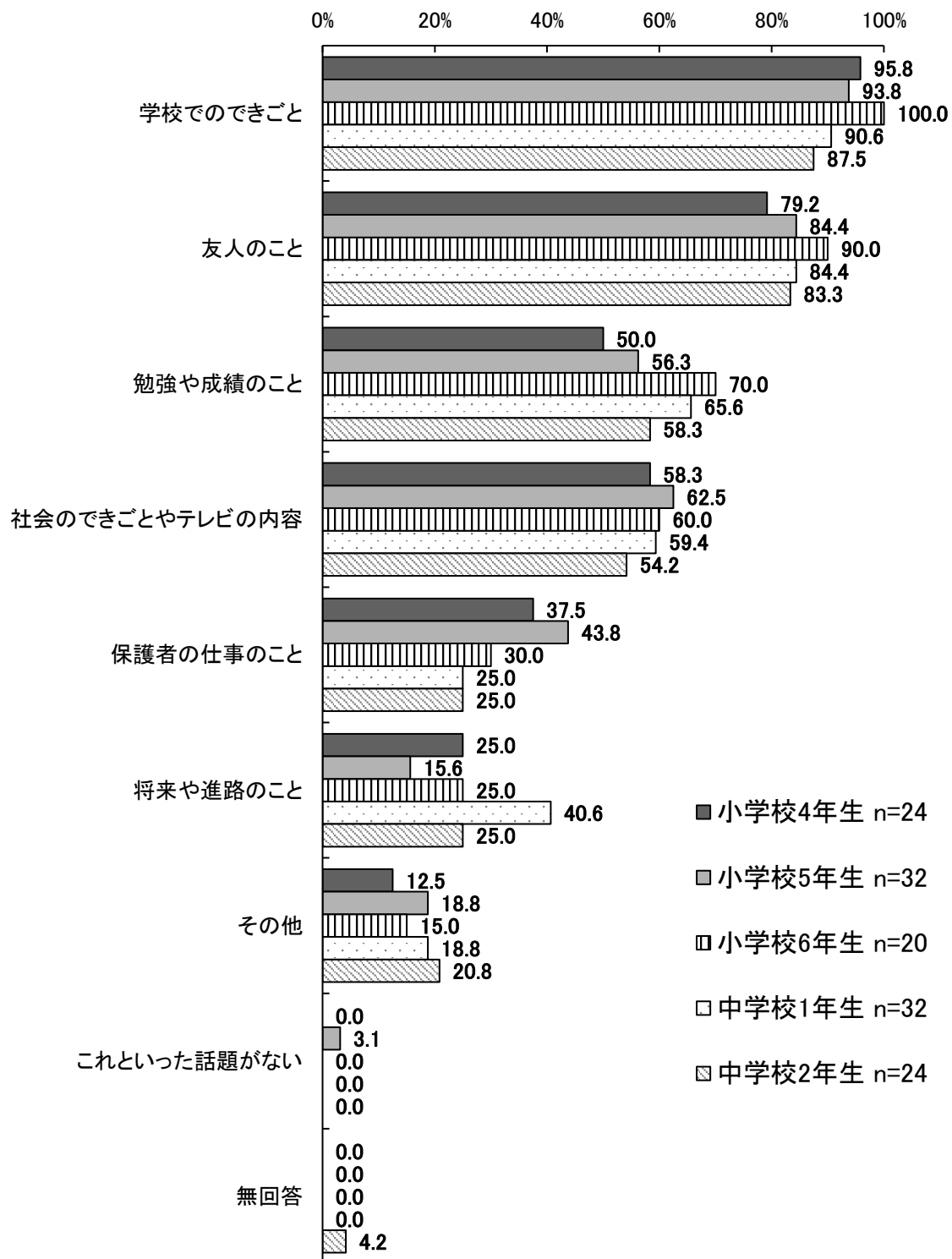
【全体・前回調査】



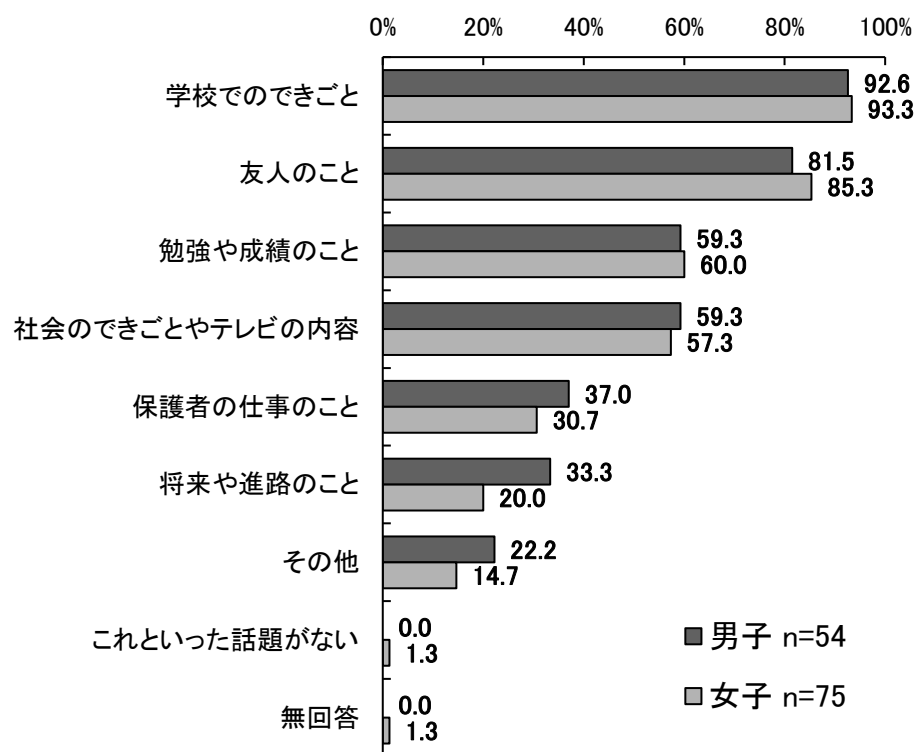
（その他の回答）

- ・趣味の話（4件） ・ゲーム（3件） ・部活（2件）
- ・習い事（2件） ・家族の事 ・子供の好きな事
- ・部会の事 ・本人が好きなゲームやアニメの話を教えてもらう
- ・釣り ・面白い話 ・スポーツ
- ・ゲーム、お祭り ・趣味、体調、メンタルなど多岐

【学年別】



【性別】



問3 子どもの将来の夢や目標の有無

お子さんは自分の将来に夢や目標を持っていますか。(1つに○)

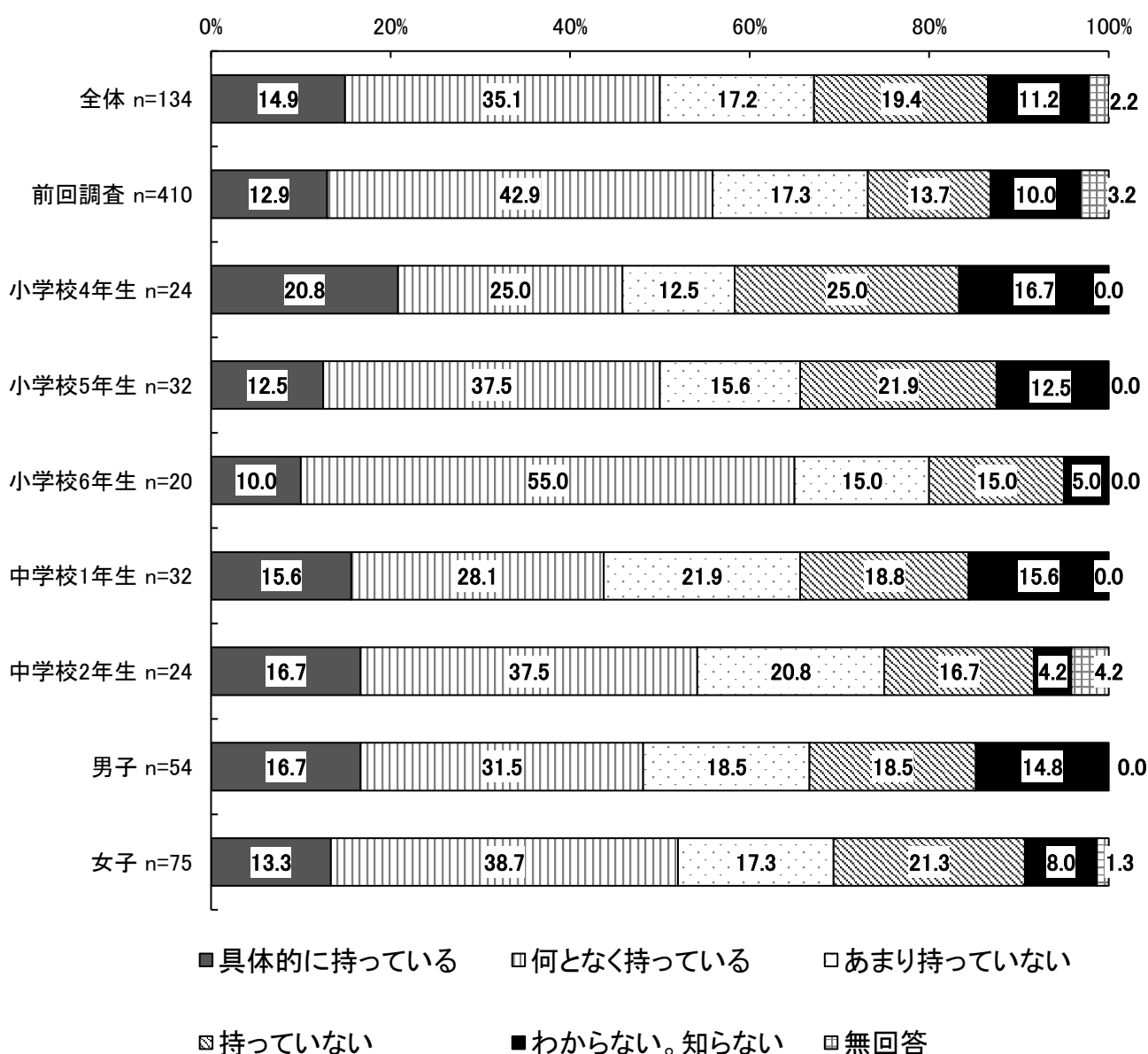
子どもの将来の夢や目標について、全体では“持っている”(「具体的に持っている」と「何となく持っている」の合計。以下同様)が50.0%と半数となっています。

前回調査と比較すると、“持っている”が5.8ポイント減少しています。

学年別にみると、“持っている”は、小学校では学年が上がるにつれて割合が高くなっており、小学校6年生では65.0%となっています。

性別でみると、“持っている”は、男子48.2%、女子52.0%であり、女子が3.8ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問3－1 夢や目標の内容

問3で「1.」～「3.」に○をつけた方におたずねします。

お子さんの持っている夢や目標を教えてください。(自由に記入)

【児童の夢や目標】

- ・消防士
- ・運転手
- ・海陽町で住みたい。ネイリストになりたい
- ・ユーチューバーになりたい
- ・親や祖父母が介護になったら世話が出来ようになりたいと理学療法士を目指している
- ・バトミントンの選手になりたい。薬剤師になりたい
- ・絵を描く仕事がしたい
- ・なんとなくだけど農家
- ・都会で仕事する
- ・車の仕事
- ・警察官
- ・ボートレーサーになりたいと言っている
- ・高校に進学して就職する
- ・プロサーファーになり、CT選手になる
- ・コンビニのレジの人。空般の人
- ・野球選手。ラーメン屋さん。生き物の研究
- ・夢はサッカー選手
- ・薬剤師、看護師
- ・なんとなく持っているが、まだ先で変わってくると思う
- ・あまり考えてないようです
- ・花屋さん
- ・保育所の先生、パン屋さん
- ・製菓
- ・動物に係る仕事(ペットショップ等)
- ・アパレル
- ・教師
- ・小学校の先生
- ・大工さん
- ・まだまだ変わります。近い話なら、中学校で陸上をする
- ・ネイリスト
- ・勉強をして資格を取る、大学に行く
- ・医者、歯医者など、定まってはいるが医療関係に興味がある
- ・家を建てる
- ・ダンサーか保育士
- ・ピアノを頑張っているの、それを活かした仕事ができればいいな、と思っているようです。
- ・絵描き、ケーキ屋
- ・釣り関係の仕事をしたい

- ・ ユーチューバー
- ・ ブライダルプランナー
- ・ ファッションデザイナー
- ・ 獣医師になってから、バレエの学校に留学したい。その後自宅にバレエスタジオと動物病院を併設して、両方やっていきたい

【生徒の夢や目標】

- ・ 大学には行きたいと思っているようだが、これといった夢はないようだ。
- ・ 学校の先生になりたい
- ・ まだ具体的な夢が無い
- ・ スポーツトレーナー
- ・ イラストレーター、イラストの勉強ができる大学に行きたい
- ・ いろんなことに興味があつてころころ変わる
- ・ 大学に行く
- ・ 歌手になりたいというので頭から否定はせず夢は大きく希望は高く!と努力して頑張りなさいと言葉をかけています
- ・ 小学校の教員になりたいと言っています
- ・ 保育士
- ・ 普通に平凡に暮らす
- ・ 医師
- ・ たまに料理に興味があるので、調理師?
- ・ 大学を出る
- ・ 看護師 マラソン選手
- ・ 生き物が好き
- ・ テストでの目標など
- ・ 看護師になりたい
- ・ 科学者になること
- ・ 警察官
- ・ イラストレーター
- ・ 映像クリエイターもしくは考古学
- ・ パン屋
- ・ 人のためになる仕事がしたい
- ・ ゲームを作る人
- ・ 美術系
- ・ 大学進学、公務員になる
- ・ 小学校の先生
- ・ 看護師
- ・ 看護師
- ・ 安定した仕事に就きたい
- ・ 美容師
- ・ 留学したい

問4 子どもの自慢できるところ

お子さんの自慢できるところをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

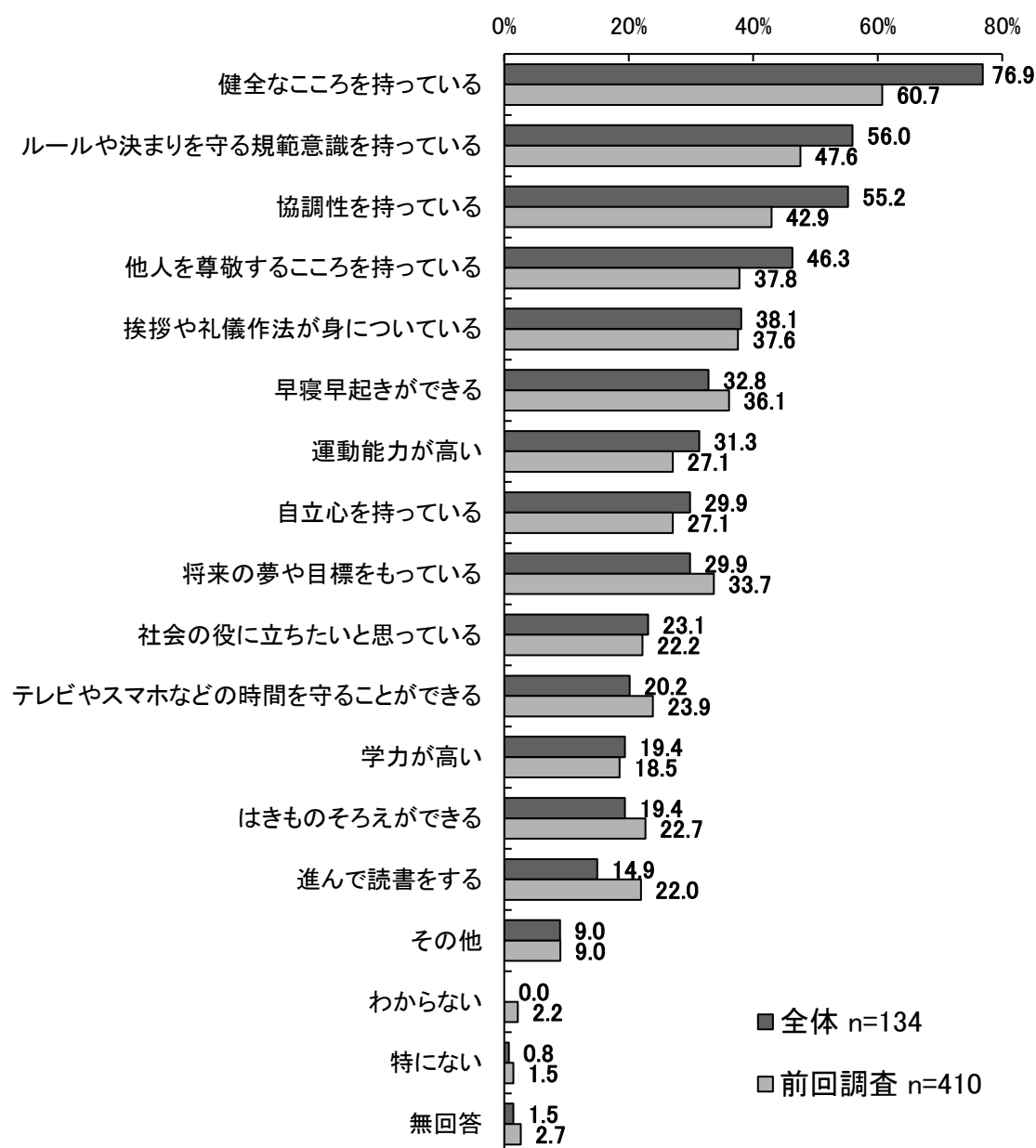
子どもの自慢できるところについて、全体では、上位から「健全なところを持っている」76.9%、「ルールや決まりを守る規範意識を持っている」56.0%、「協調性を持っている」55.2%となっています。

前回調査と比較すると、「健全なところを持っている」が16.2ポイント増加しています。

学年別にみると、「進んで読書をする」の割合が、小学校4年生 29.2ポイントから中学校1年生には6.3ポイントと大きく減少しています。

性別でみると、「早寝早起きができる」は男子 40.7%、女子 26.7%であり、男子が14.0ポイント高くなっています。

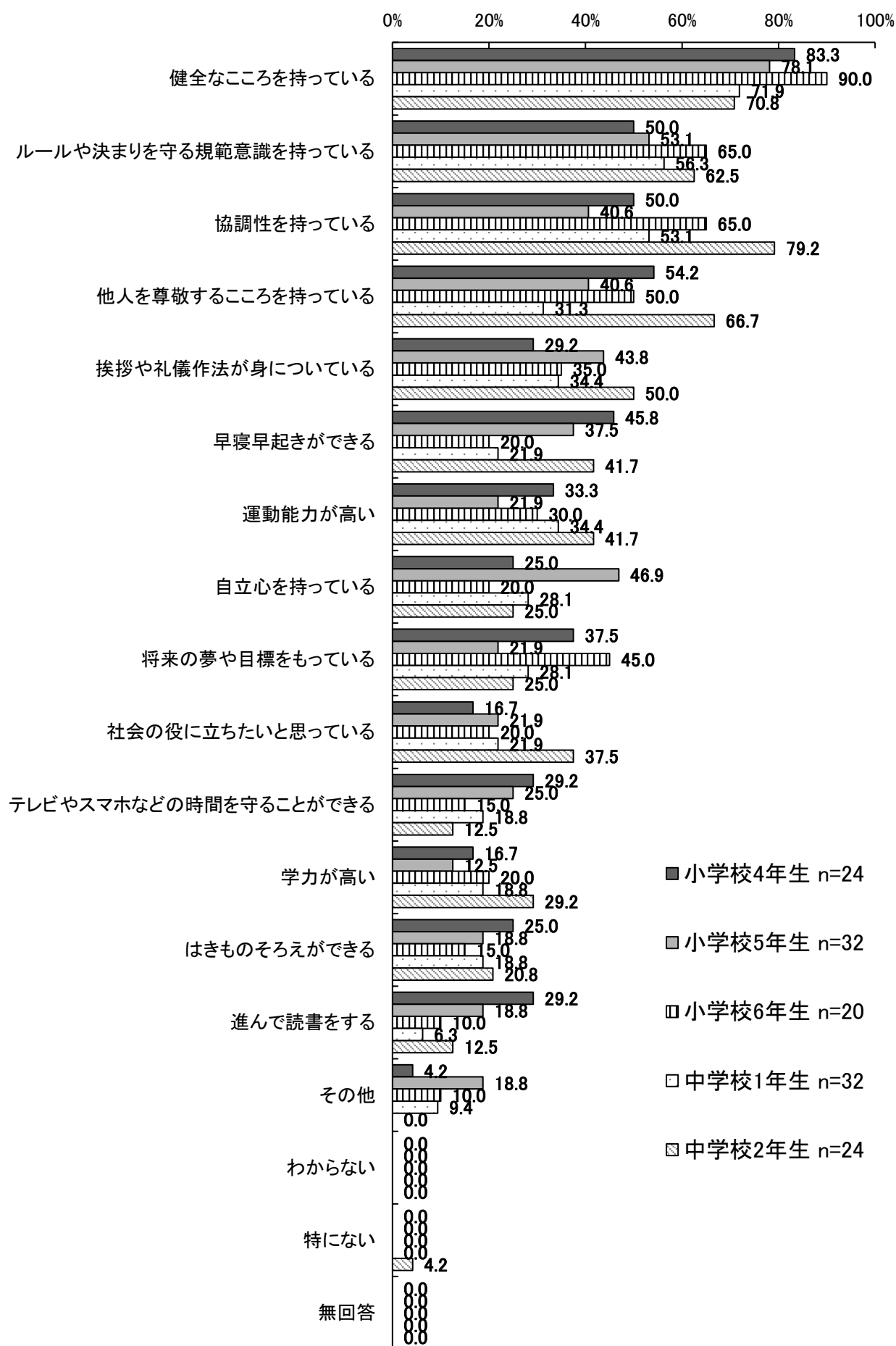
【全体・前回調査】



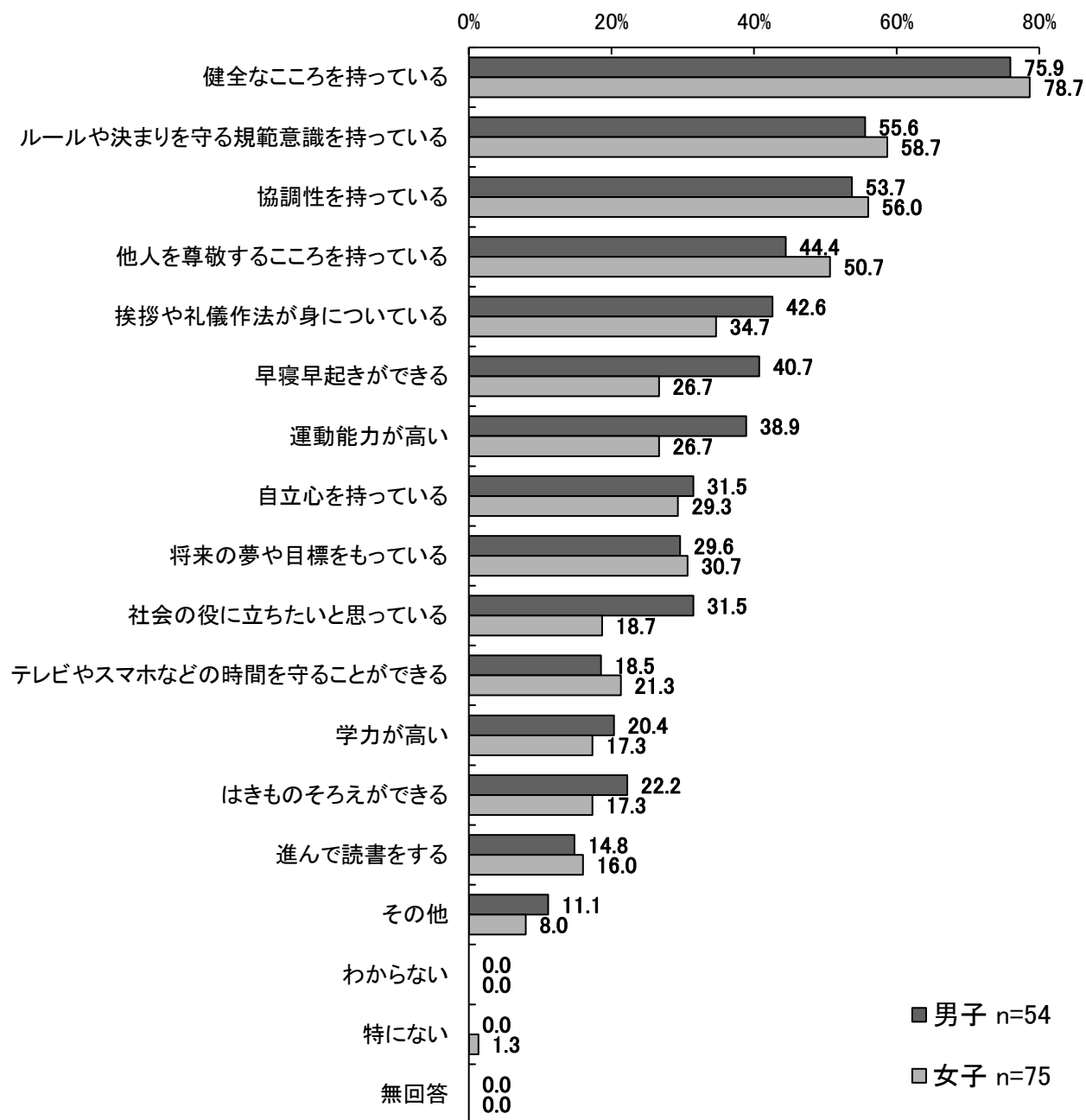
(その他の回答)

- ・絵がうまい。明るい
- ・人見知りをしない
- ・やさしい、手先が器用
- ・努力が出来る
- ・思いやりがあってやさしい
- ・口下手ではあるが、優しいと思う
- ・他人の尊重する心を持っている
- ・優しさ
- ・動物に対してとても優しい
- ・努力する力
- ・好きなことがある

【学年別】



【性別】



問5 習い事について

お子さんは、以下の習い事をしていますか。また、習い事をしている場合、それぞれの1週間あたりの頻度や延べ時間をお答えください。

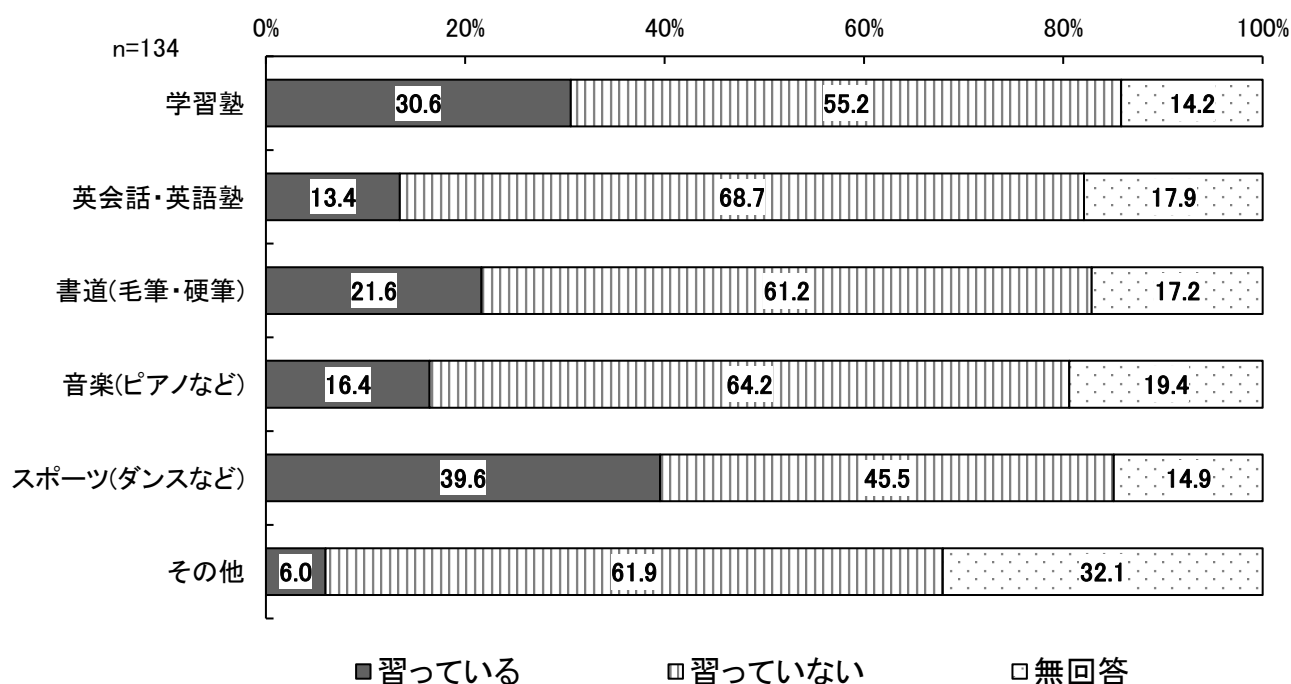
習い事について、「習っている」という割合が高いのは、上位から「スポーツ（ダンスなど）」39.6%、「学習塾」30.6%、「書道（毛筆・硬筆）」21.6%の順となっています。

学年別でみると、小学校4～6年生では「スポーツ（ダンスなど）」の割合が最も高くなっている一方、中学校1～2年生では「学習塾」の割合が最も高くなっています。

また、習い事に通う頻度について、「週1日」は英会話・英語塾、書道（毛筆・硬筆）、音楽（ピアノなど）で最も高く、「週2日」は学習塾、「週3日」はスポーツ（ダンスなど）でそれぞれ最も高くなっています。

習い事の延べ時間について、スポーツ（ダンスなど）は、上位から「週に2時間」22.6%、「週に3時間」18.9%、「週に6時間」15.1%と多岐にわたっています。

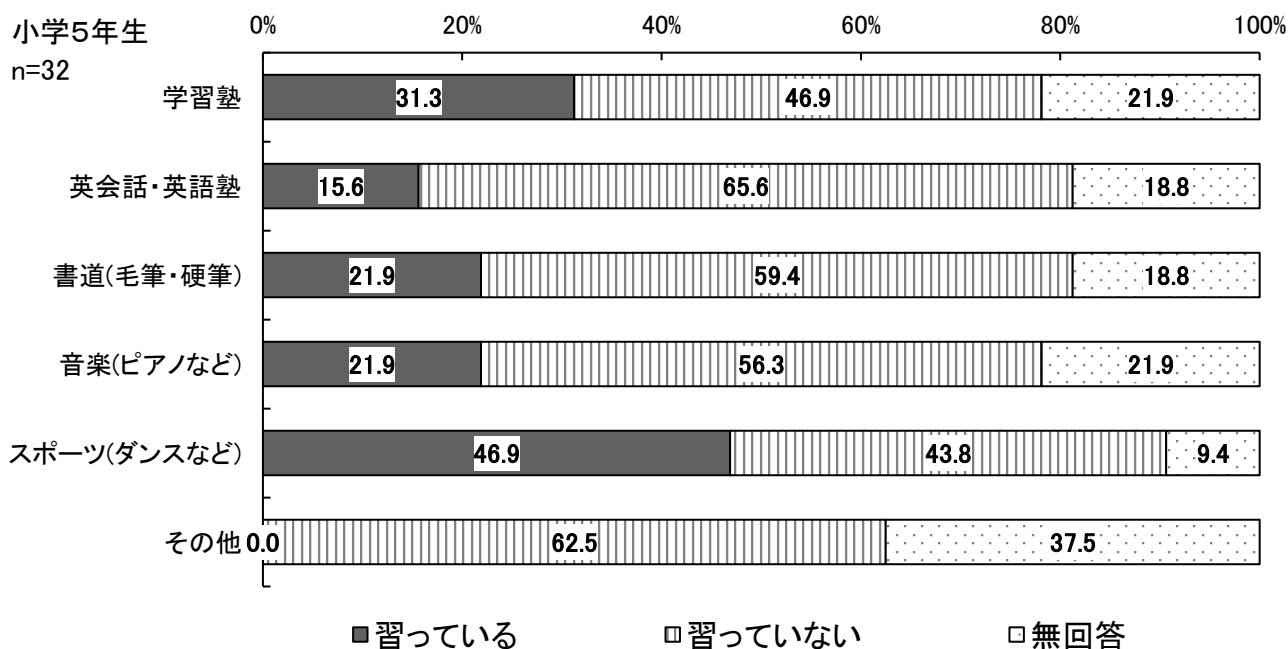
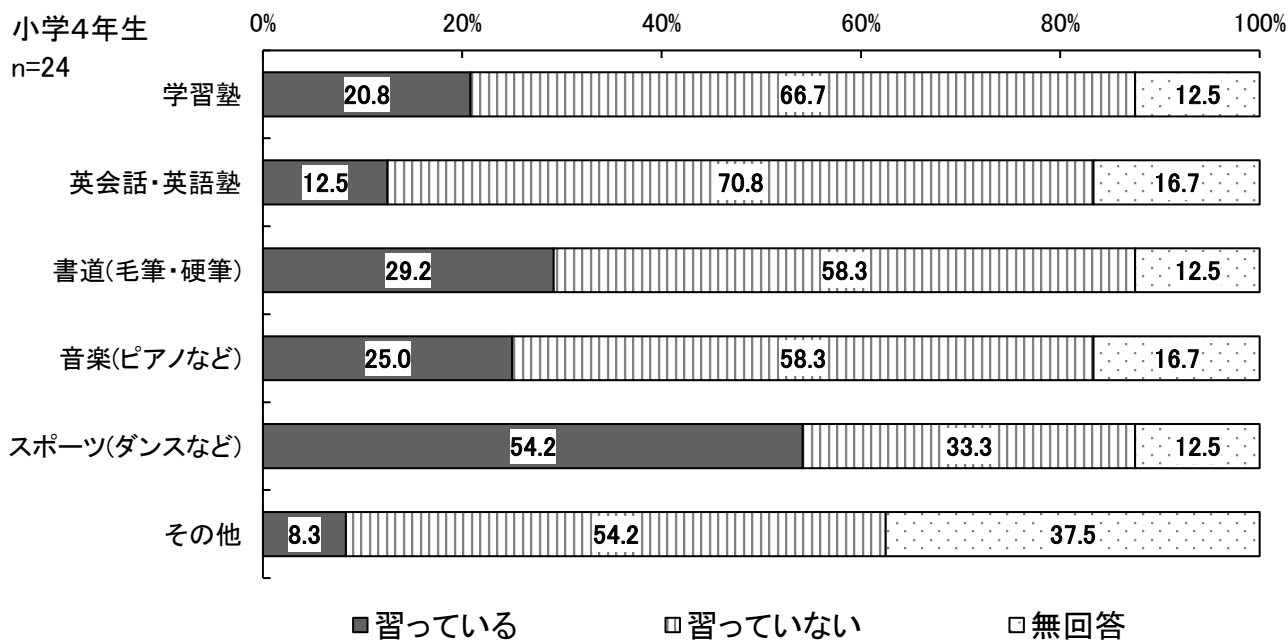
【全体】

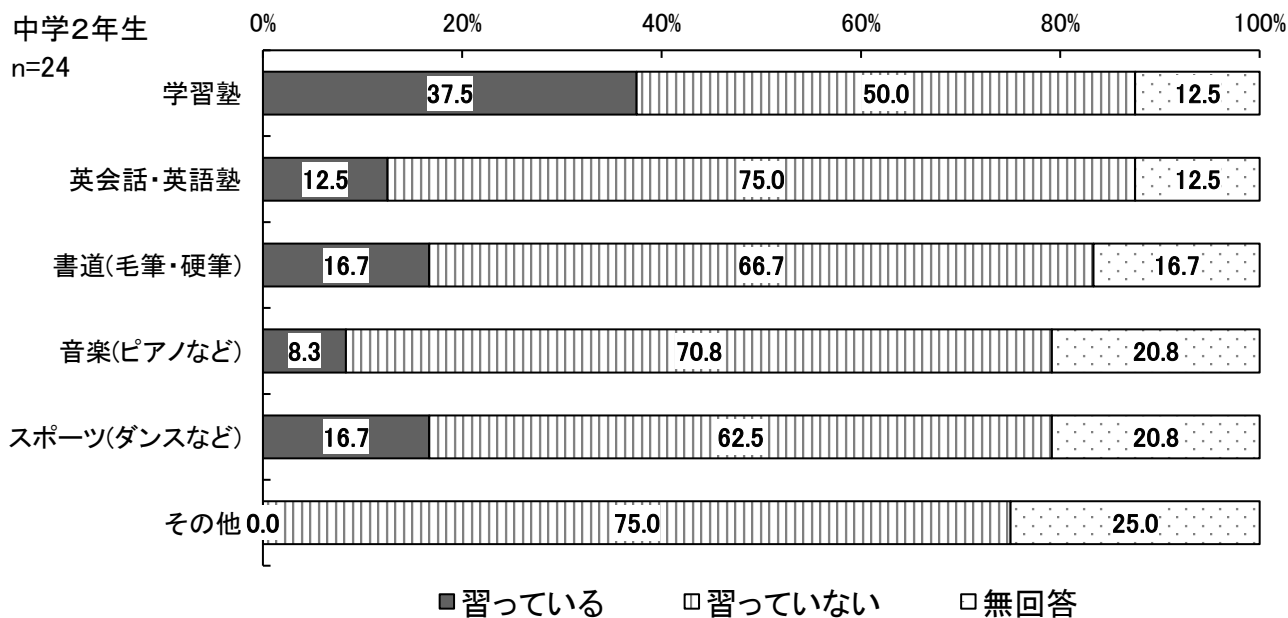
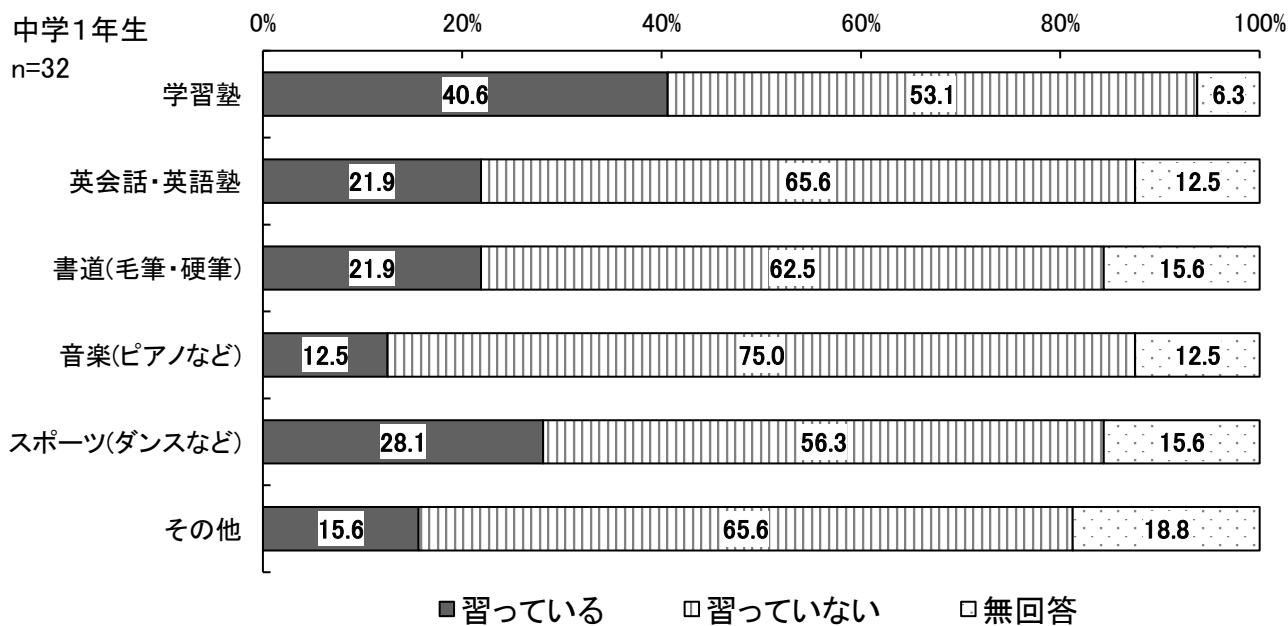
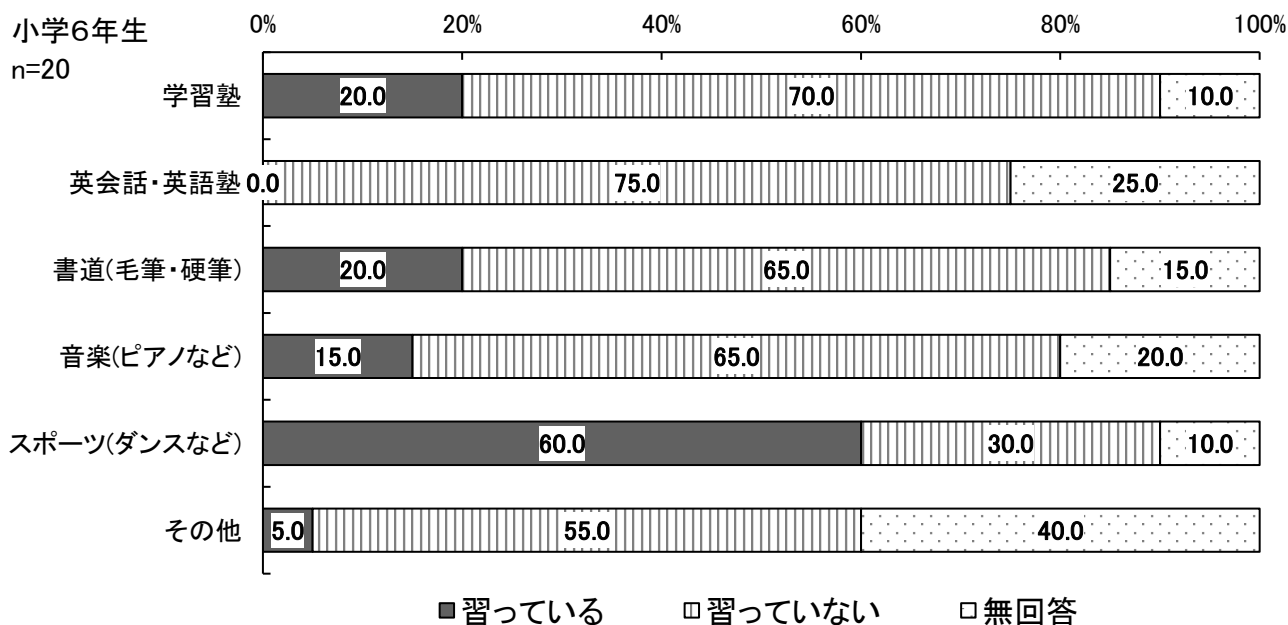


（その他の回答）

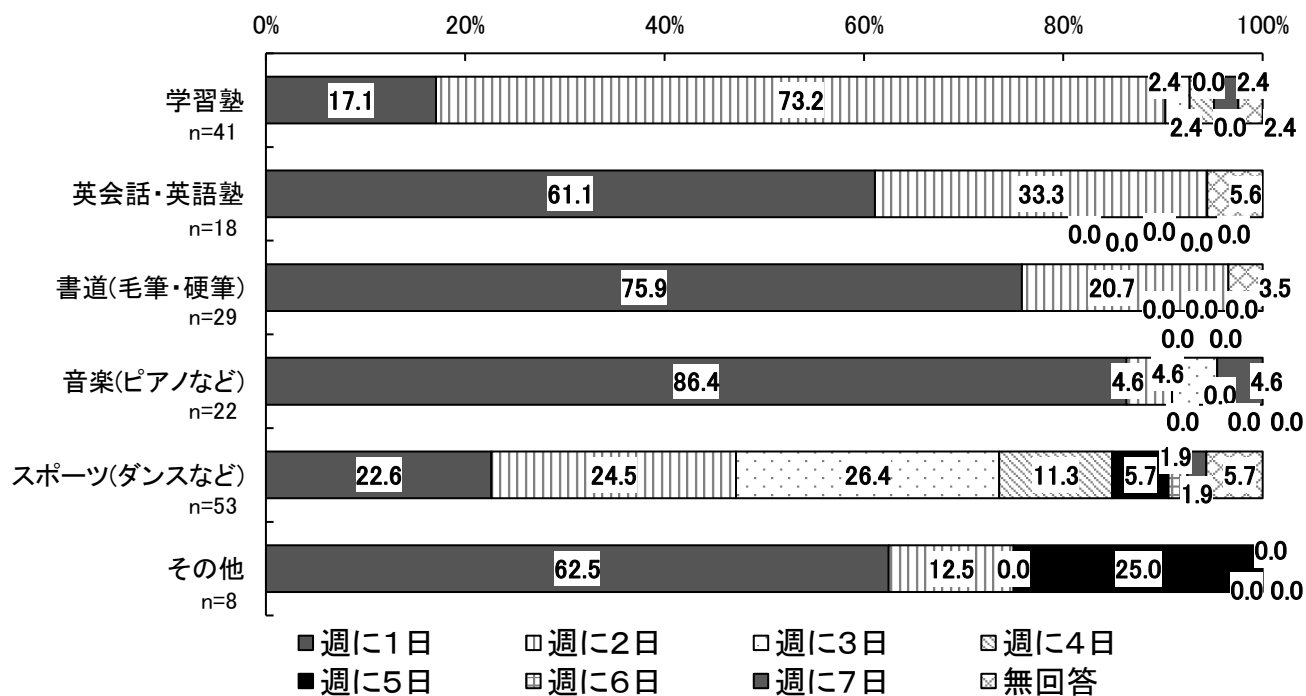
- ・ 水泳
- ・ 演技
- ・ 部活
- ・ 進研ゼミ
- ・ 家庭教師
- ・ 少林寺拳法
- ・ 文化系
- ・ 公文、お絵描き教室

【学年別】

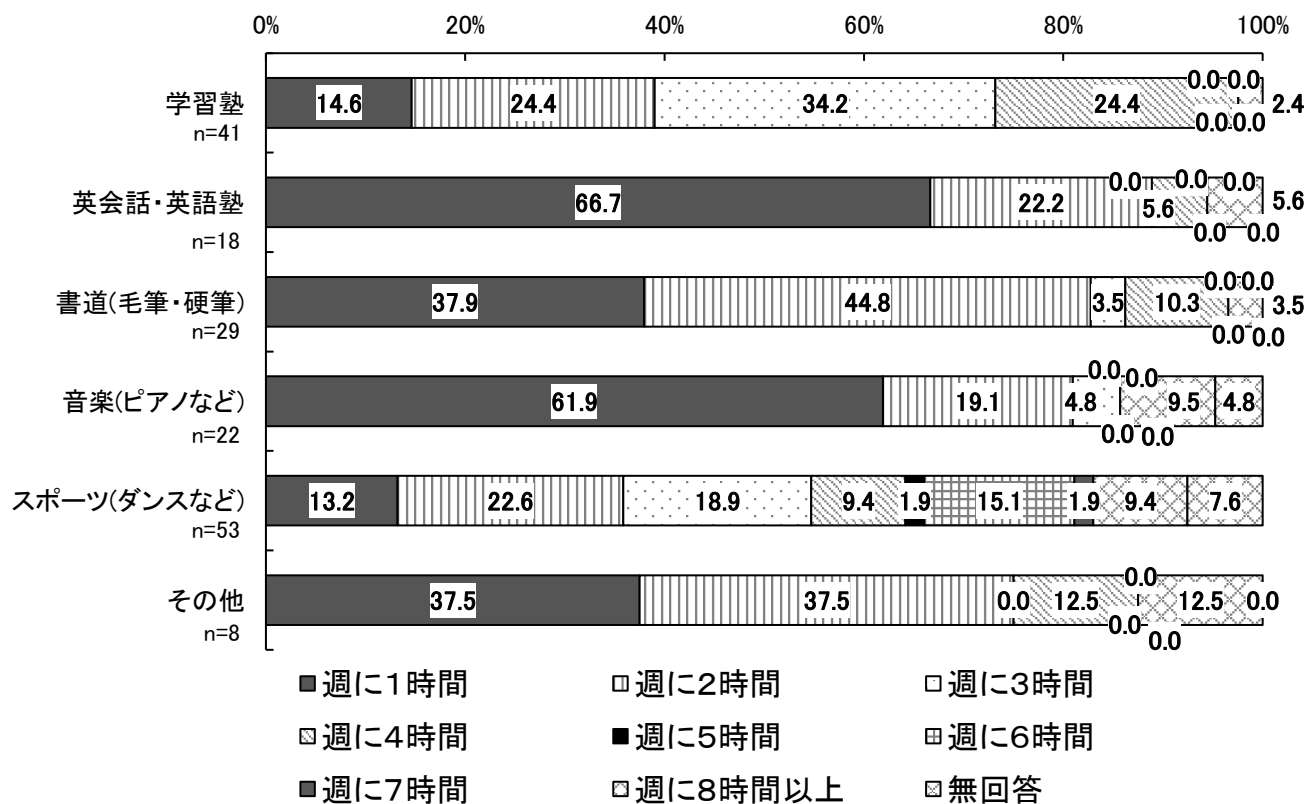




【1週間あたりの頻度】



【1週間あたりの延べ時間】



問5－1 学習塾や英会話・英語塾に通う理由

学習塾や英会話・英語塾を習っている方におたずねします。

習い事をする理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

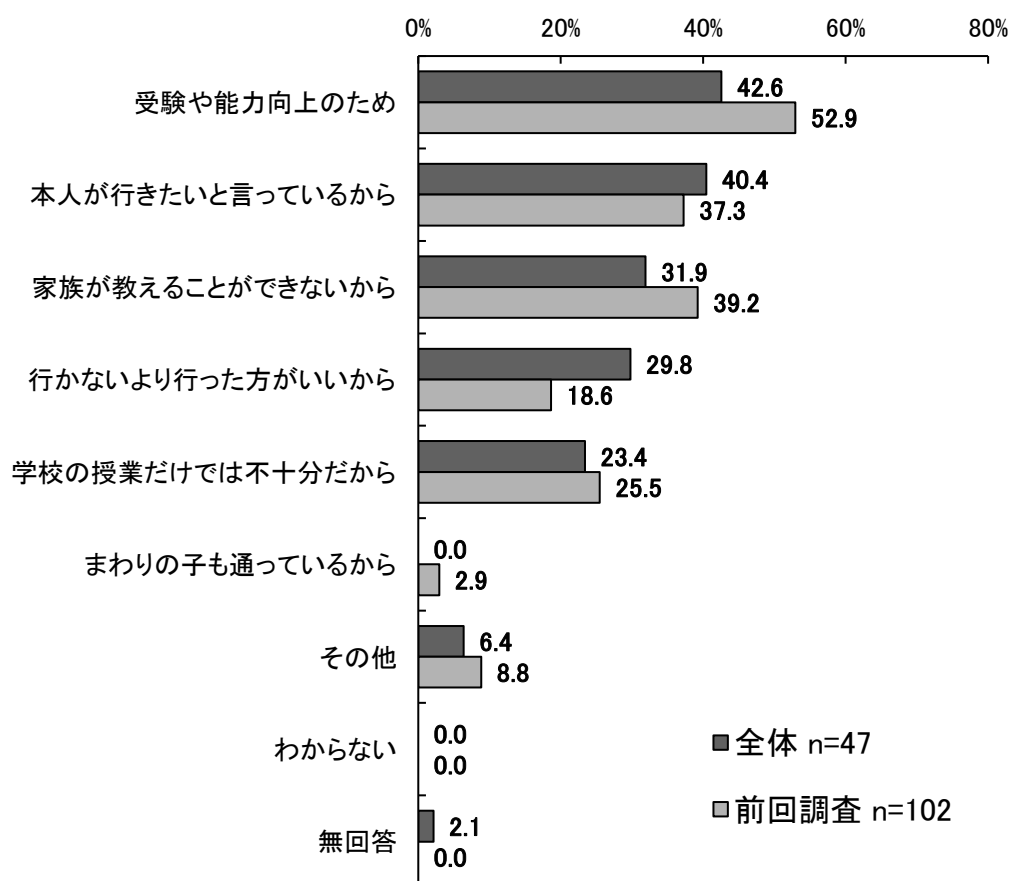
学習塾や英会話・英語塾に通う理由について、全体では、上位から「受験や能力向上のため」42.6%、「本人が行きたいと言っているから」40.4%、「家族が教えることができないから」31.9%となっています。

前回調査と比較すると、「受験や能力向上のため」が10.3ポイント減少し、「行かないより行った方がいいから」が11.2ポイント増加しています。

学年別でみると、「受験や能力向上のため」は、小学校6年生で100%と、すべての方が回答しています。

性別でみると、「受験や能力向上のため」は男子52.6%、女子34.6%であり、男子が18.0ポイント高くなっています。一方で、「本人が行きたいと言っているから」などの他の選択肢では、女子の方が男子より高くなっています。

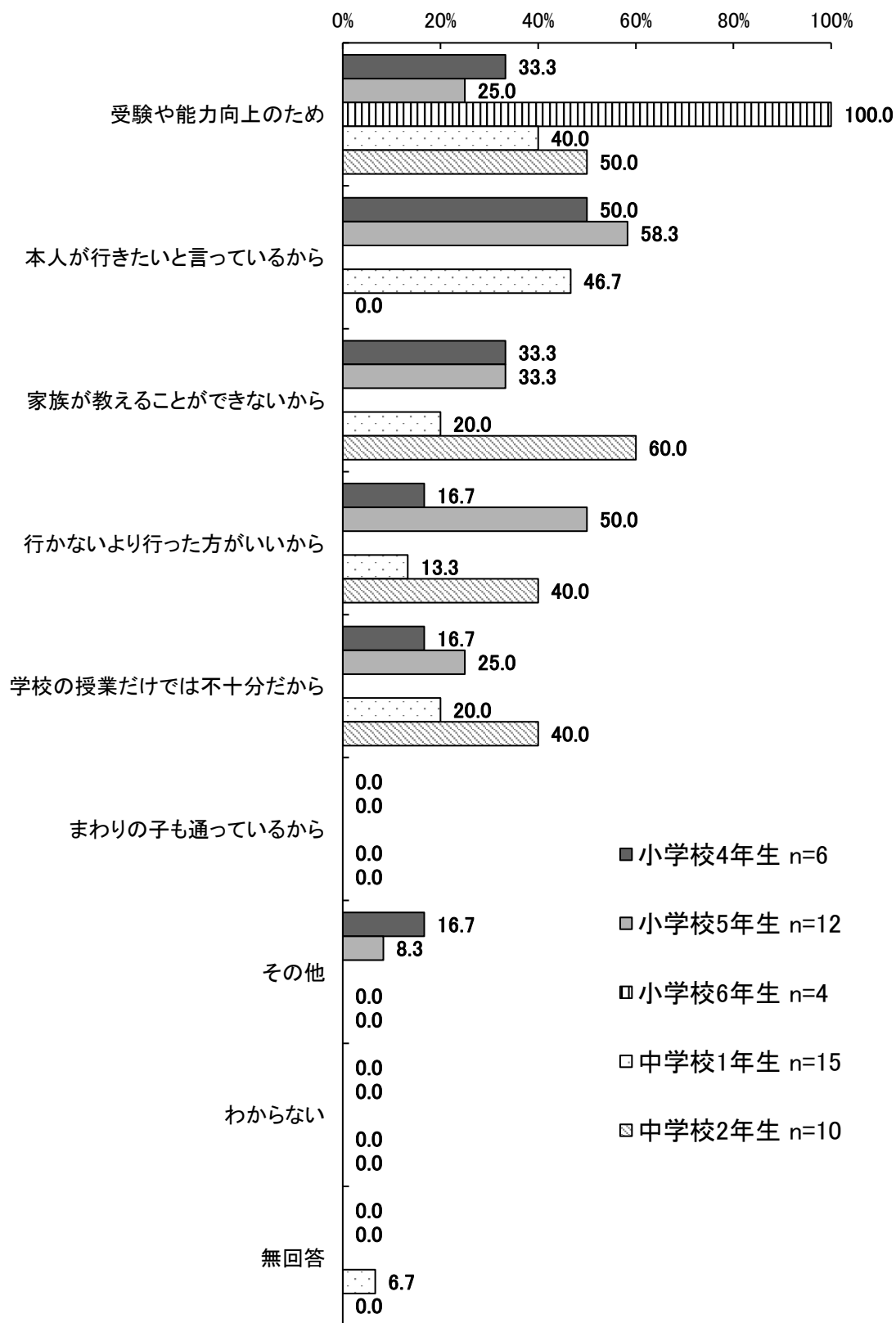
【全体・前回調査】



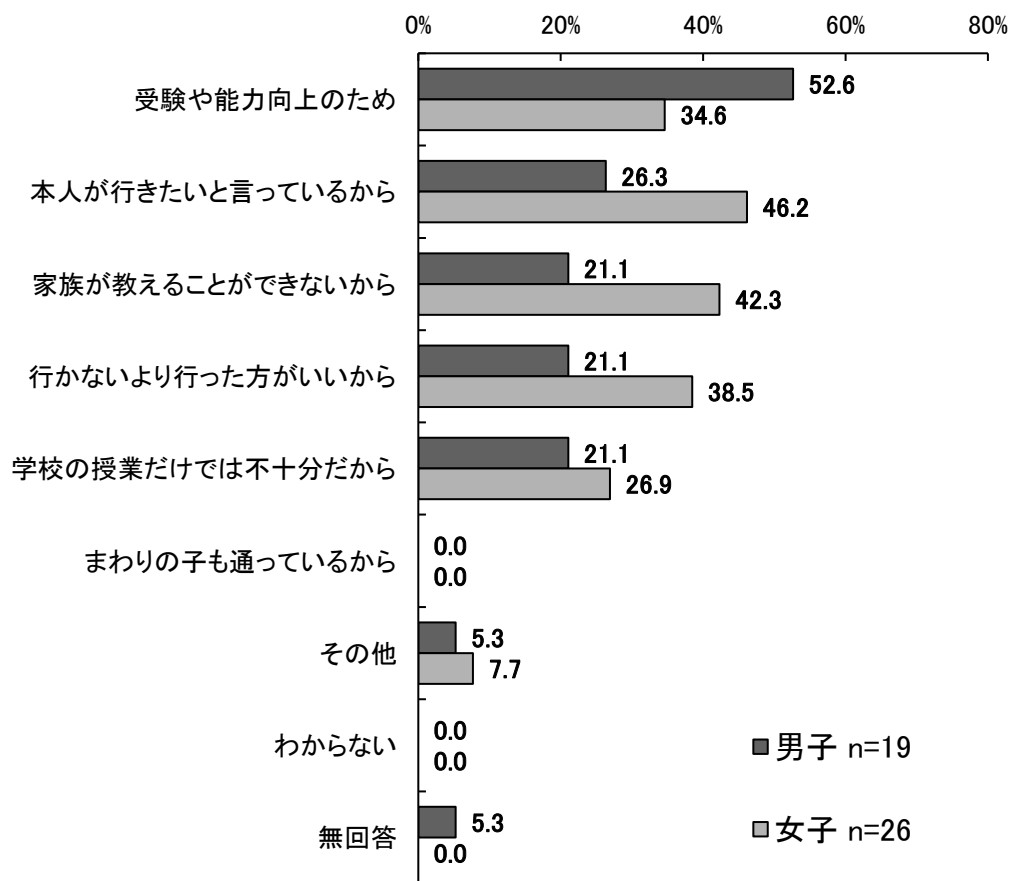
（その他の回答）

- ・基礎を身につけるため
- ・勉強が出来なさ過ぎているから
- ・祖母の勧め
- ・英会話に日常的に触れさせるため

【学年別】



【性別】



問5－2 習い事をしない理由

習い事をまったくしていない方におたずねします。

習い事をしない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

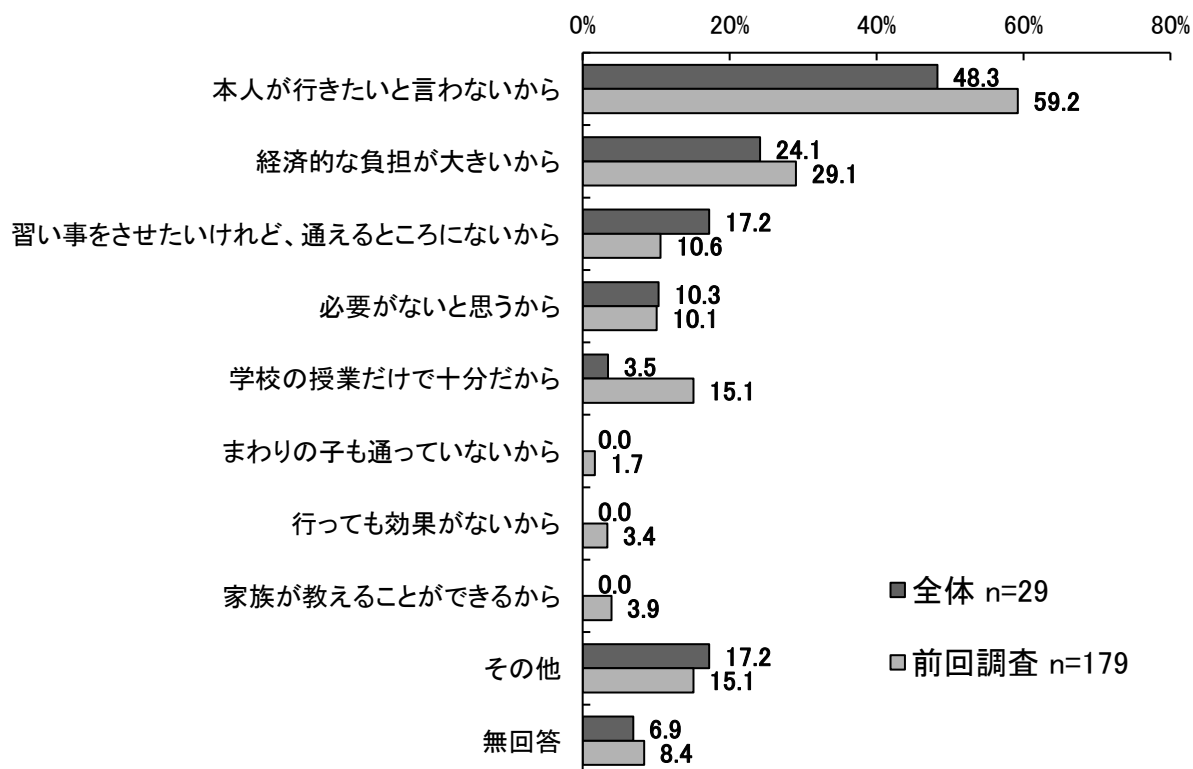
習い事をしない理由は、全体では、上位から「本人が行きたいと言わないから」48.3%、「経済的な負担が大きいから」24.1%、「習い事をさせたいけれど、通えるところがないから」と「その他」17.2%となっています。

前回調査と比較すると、「本人が行きたいと言わないから」が10.9ポイント減少しています。

学年別でみると、「習い事をさせたいけれど、通えるところがないから」は、中学校1年生で42.9%と他の学年に比べて割合が高くなっています。

性別でみると、「本人が行きたいと言わないから」は男子58.8%、女子33.3%であり、男子が25.5ポイント高くなっています。一方、「習い事をさせたいけれど、通えるところがないから」は男子5.9%、女子33.3%と、女子が27.4ポイント高くなっています。

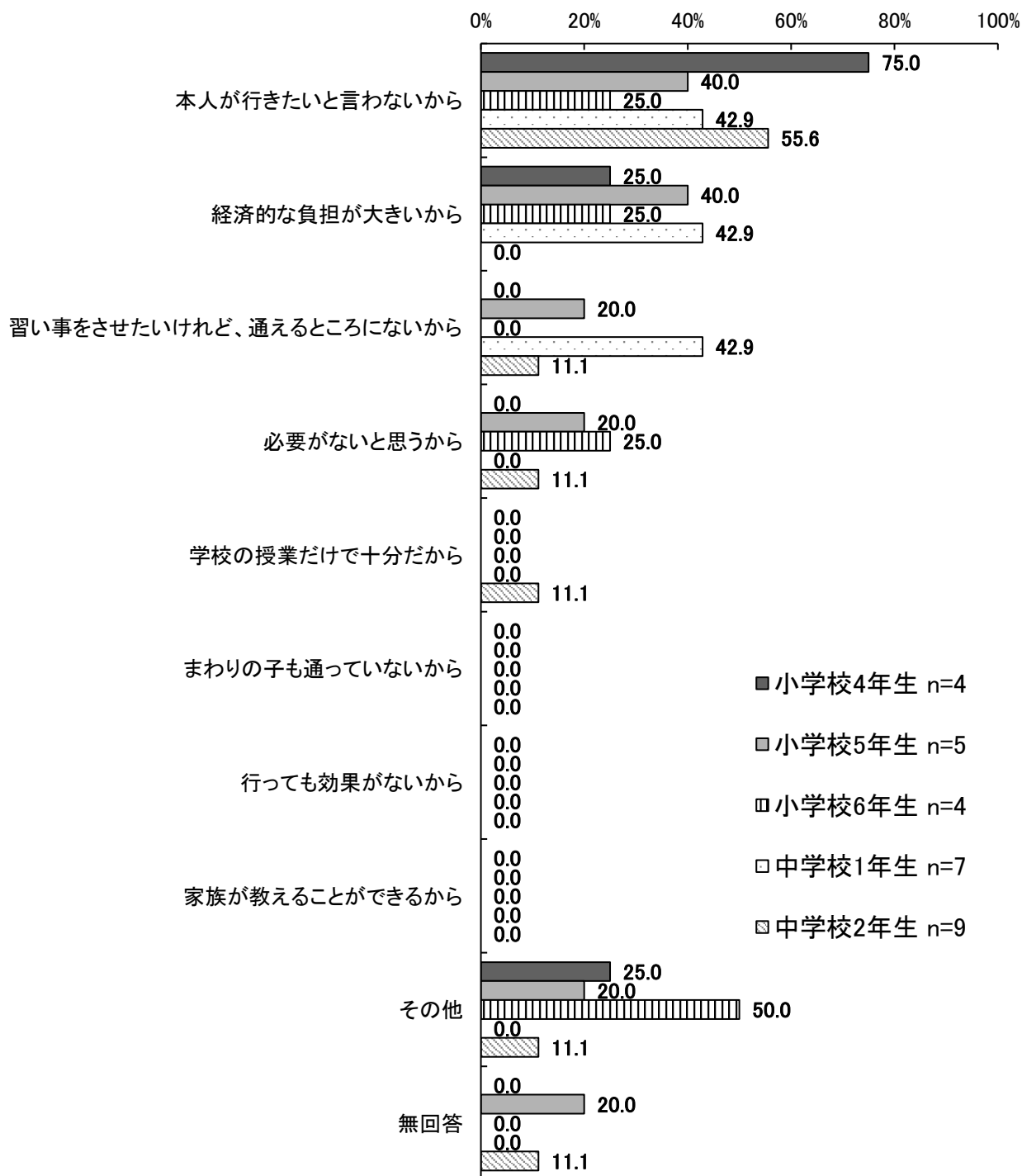
【全体・前回調査】



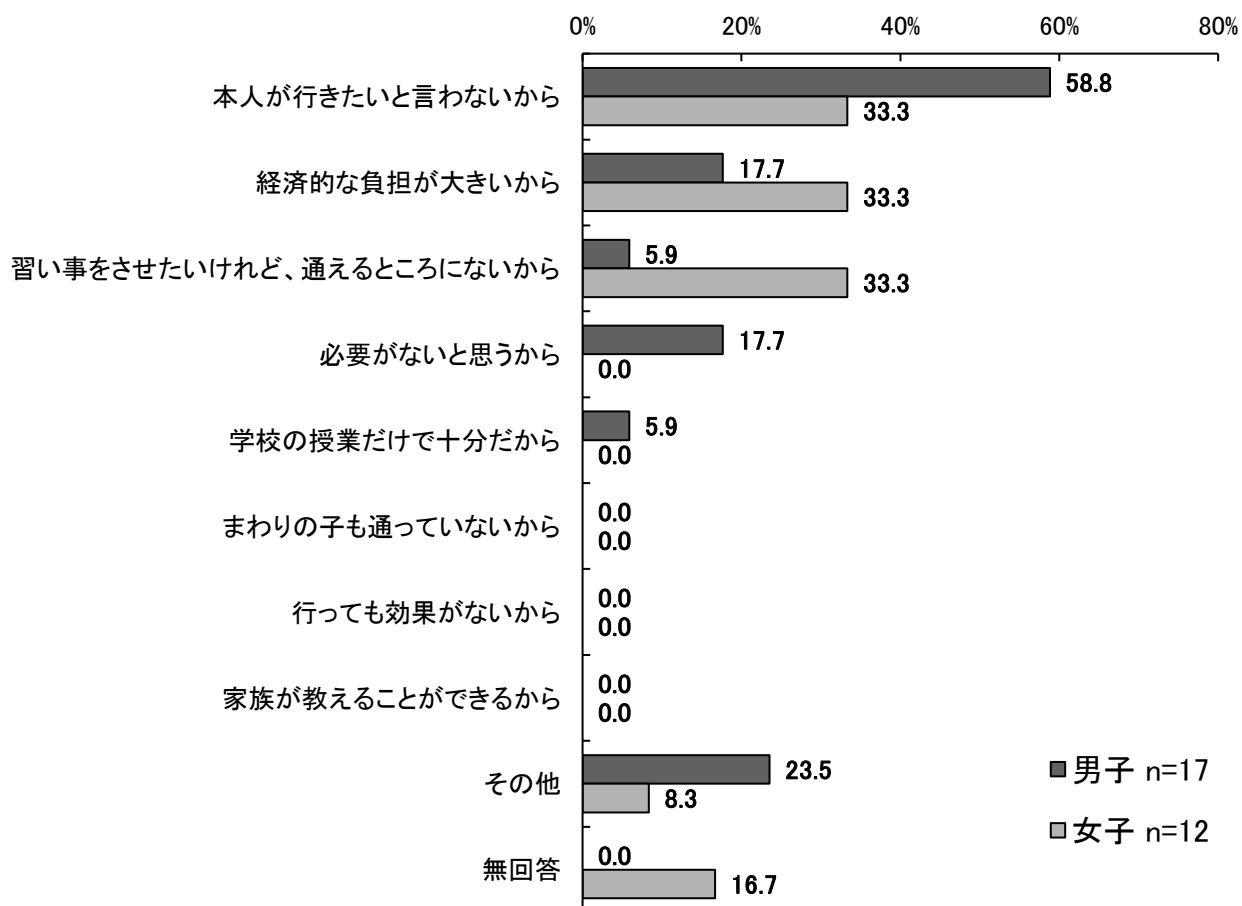
(その他の回答)

- ・スポーツの習い事をしたいが親が仕事で付いていけないから
- ・送り迎えが出来ない
- ・学校で先生が丁寧に指導してくれているから
- ・知的障害があり、受け入れてもらえるかわからない。障害の説明をするしんどさ、理解があると思わない
- ・行ったことはあるが宿題(両方)をやるのが困難だった
- ・送り迎えができない
- ・部活をしているので時間がない

【学年別】



【性別】



問6 家庭での勉強について

お子さんは、家で進んで勉強をしますか。(1つに○)

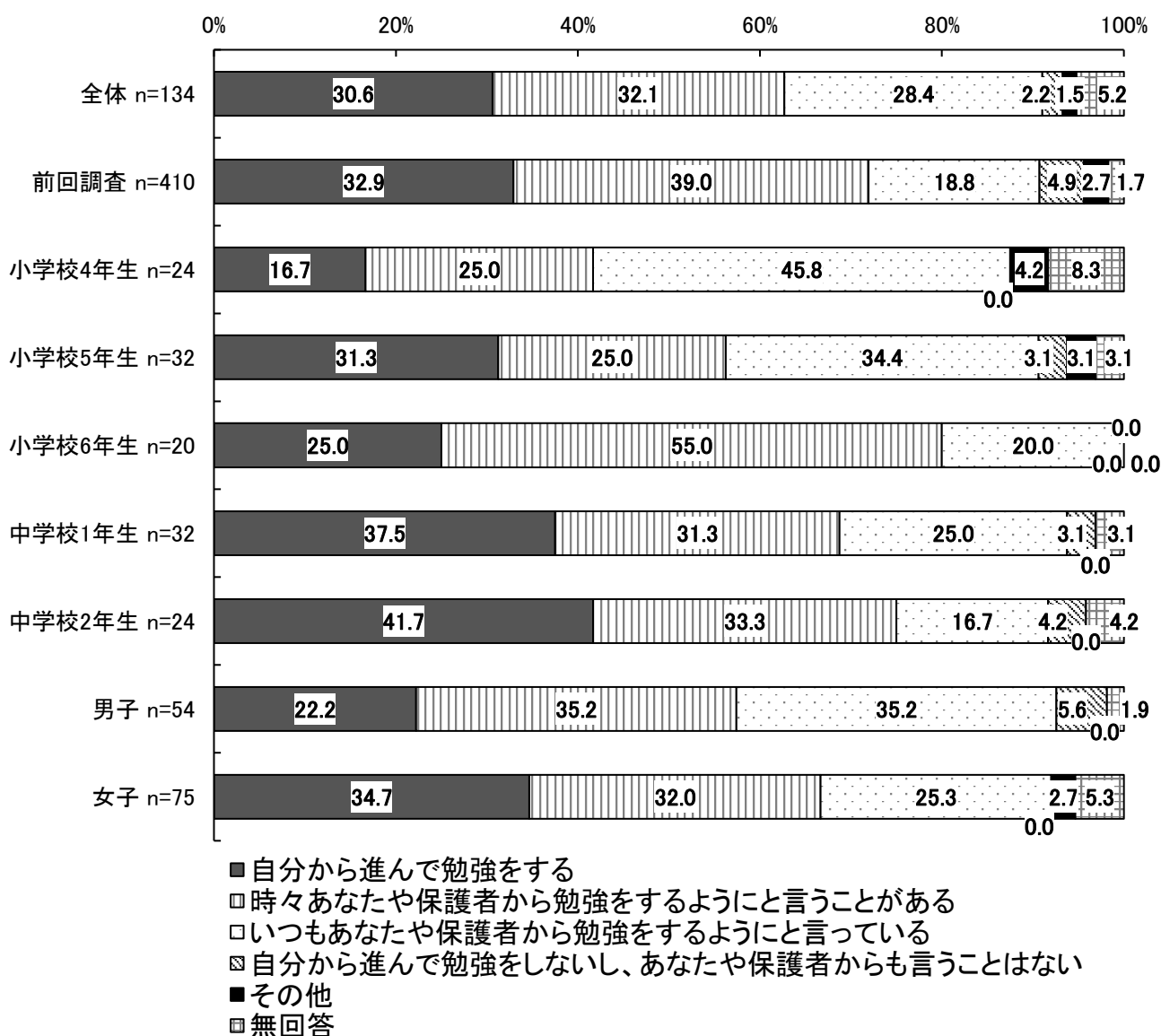
家庭での勉強について、全体では、上位から「時々あなたや保護者から勉強をするようにと言うことがある」32.1%、「自分から進んで勉強をする」30.6%、「いつもあなたや保護者から勉強をするようにと言っている」28.4%となっています。

前回調査と比較すると、「いつもあなたや保護者から勉強をするようにと言っている」が9.6ポイント増加しています。

学年別にみると、「自分から進んで勉強をする」は、学年が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、小学校4年生16.7%から中学校2年生には41.7%となっています。

性別でみると、「自分から進んで勉強をする」は、男子22.2%、女子34.7%であり、女子が12.5ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



(その他の回答)

- ・宿題は、自分から進んでする
- ・親が誘って一緒にやっている

問6-1 家庭での勉強時間

お子さんは、家で平均してどのくらい勉強をしていますか。(30分単位で数字を記入)
※塾での勉強時間も含めてください。

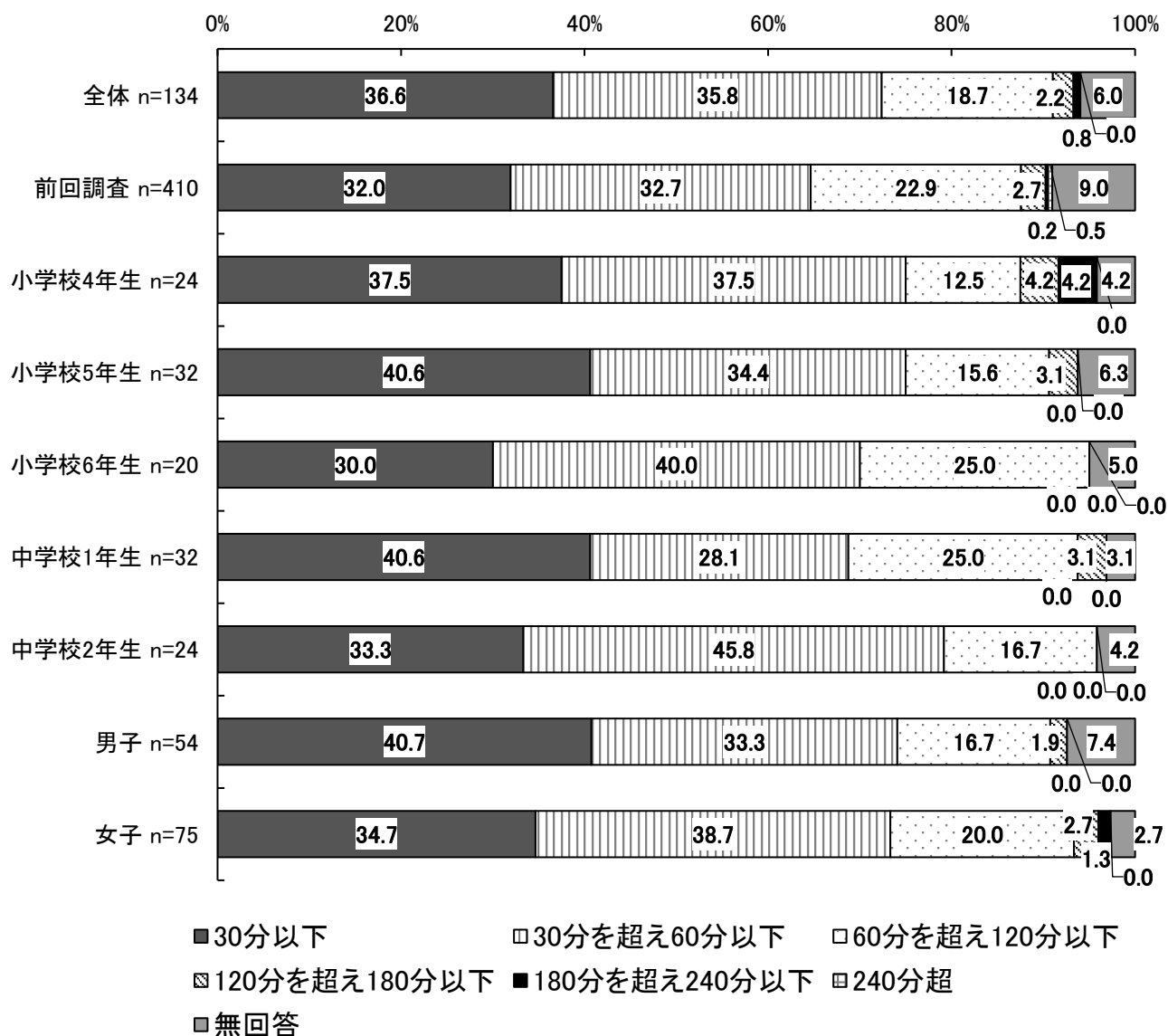
家庭での勉強時間は、全体では、上位から「30分以下」36.6%、「30分を超え60分以下」35.8%、「60分を超え120分以下」18.7%となっています。「120分以下」（「30分以下」と「30分を超え60分以下」と「60分を超え120分以下」の合計。以下同様）が91.1%を占めています。

前回調査と比較すると、「120分以下」が3.5ポイント増加しています。

学年別でみると、「60分以上」（「60分を超え120分以下」と「120分を超え180分以下」と「180分を超え240分以下」と「240分超」の合計）が小学校6年生25.0%、中学校1年生28.1%と他の学年に比べて割合が高くなっています。

性別でみると、「30分以下」は男子40.7%、女子34.7%と、男子の方が6.0ポイント高くなっていますが、それ以外の割合については、女子が男子を上回っています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問7 家庭での読書について

お子さんは、家で進んで読書をしますか。(1つに○)

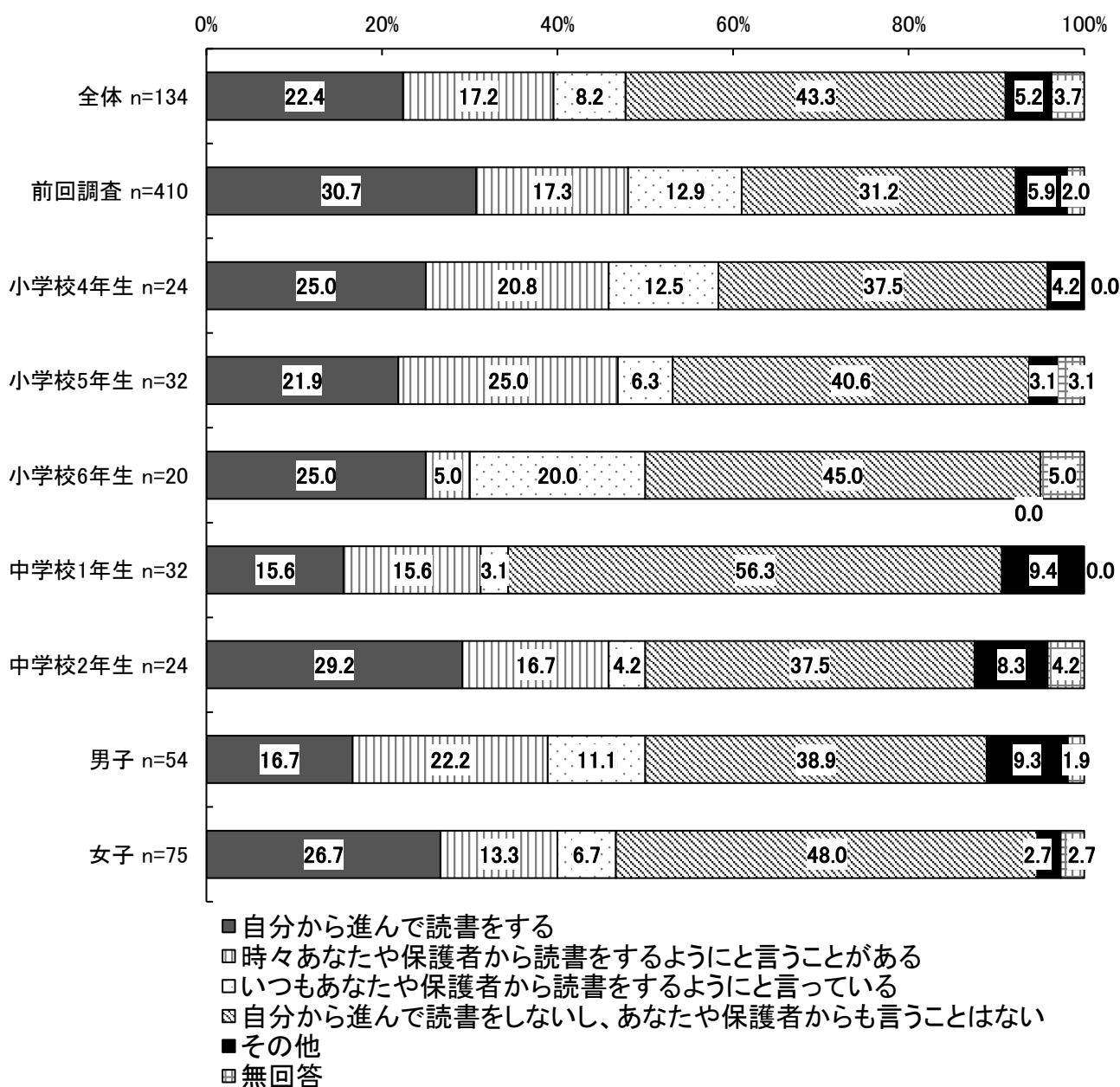
家庭での読書について、全体では、上位から「自分から進んで読書しないし、あなたや保護者からも言うことはない」43.3%、「自分から進んで読書をする」22.4%、「時々あなたや保護者から読書をするようにと言うことがある」17.2%となっています。

前回調査と比較すると、「自分から進んで読書しないし、あなたや保護者からも言うことはない」が12.1ポイント増加しています。

学年別でみると、「自分から進んで読書しないし、あなたや保護者からも言うことはない」は、中学校1年生56.3%と半数を超えており、他の学年に比べて割合が高くなっています。

性別でみると、「自分から進んで読書をする」は、男子16.7%、女子26.7%であり、女子が10.0ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



(その他の回答)

- ・子供に任している ・時々読書している ・たまに自分から進んで読んでいる
- ・たまに読書している(漫画本)が多いと思います) ・漫画は読みます
- ・週末時間のある時に、自分から読書をしている

問7-1 家庭での読書時間

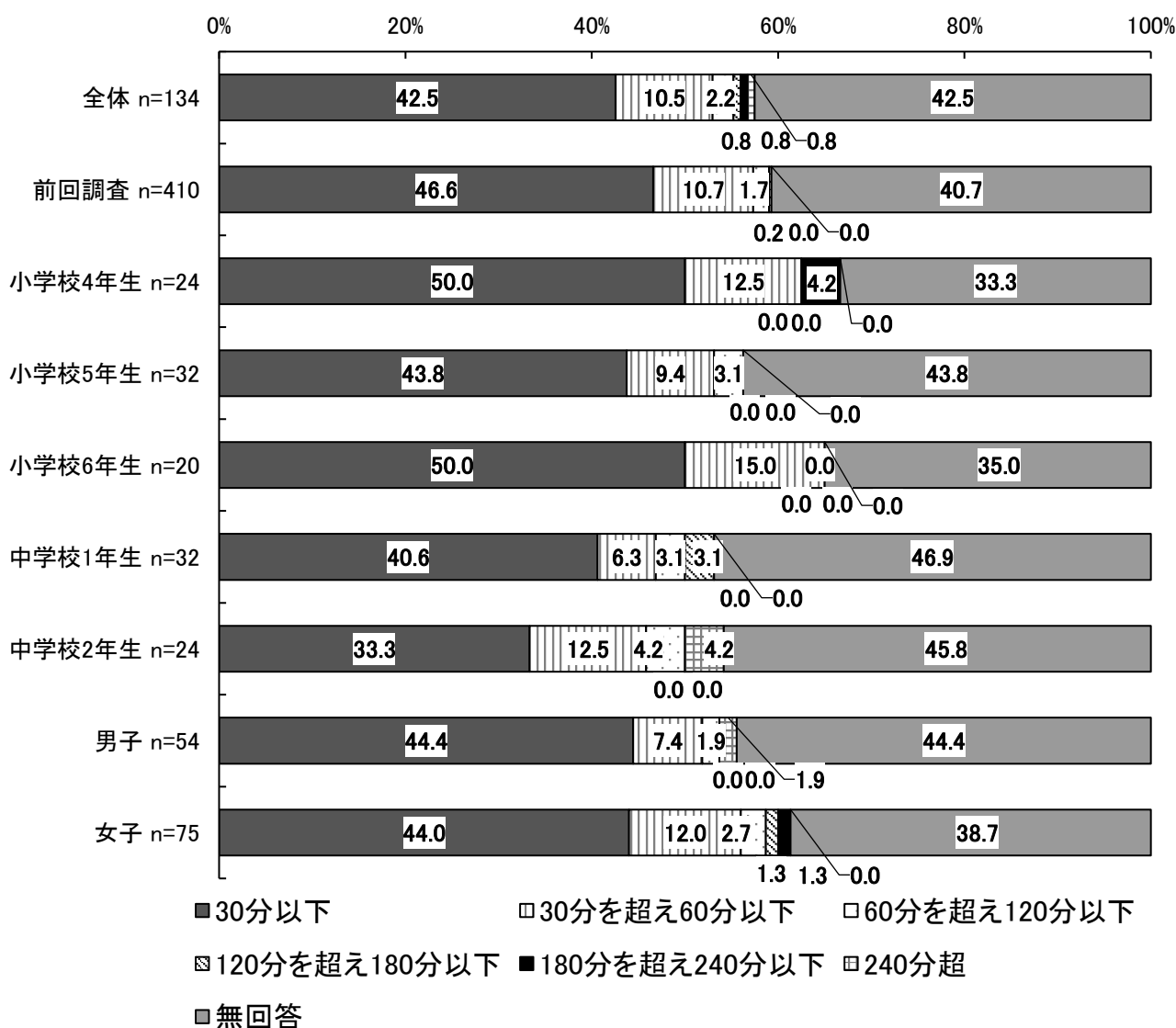
お子さんは、家で平均してどのくらい読書をしていますか。(30分単位で数字を記入)
※図書館での読書時間も含めてください。

家庭での読書時間は、全体では、上位から「30分以下」42.5%、「30分を超え60分以下」10.5%、「60分を超え120分以下」2.2%となっています。なお、「無回答」が42.5%あります。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

学年別でみると、「30分以下」が小学校4年生と6年生は50.0%と半数となっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問8 家庭での情報機器の使用について

お子さんは、家で1日にどのくらい情報機器（スマートフォンやタブレット、パソコン、携帯ゲーム等）を使っていますか。（1つに○）

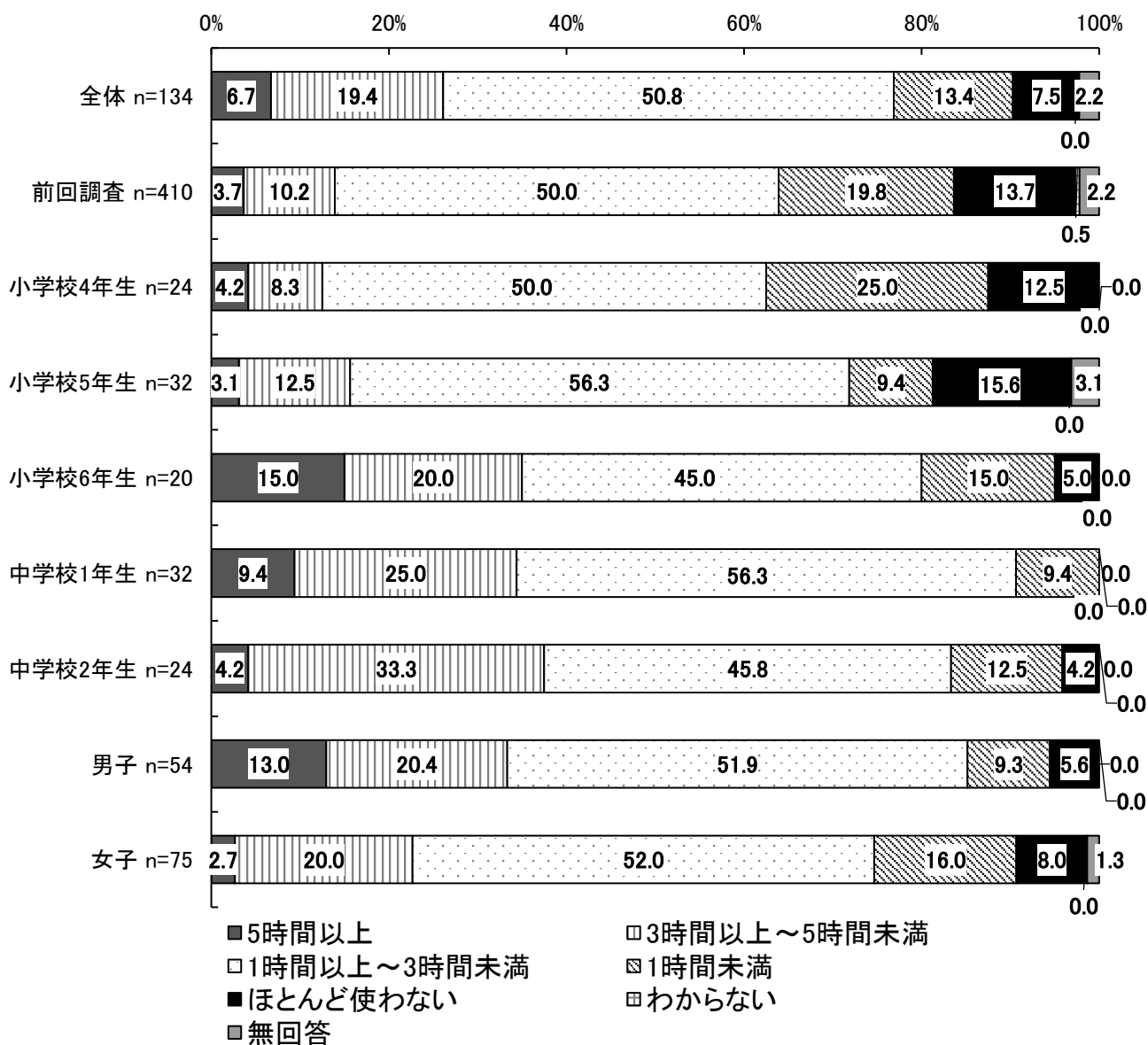
家庭での情報機器の使用について、全体では、上位から「1時間以上～3時間未満」50.8%、「3時間以上～5時間未満」19.4%、「1時間未満」13.4%となっています。

前回調査と比較すると、「3時間以上」（「3時間以上～5時間未満」と「5時間以上」の合計。以下同様）が13.9%から26.1%と12.2ポイント増加しています。

学年別でみると、「3時間以上」は学年が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、小学校4年生12.5%から中学校2年生には37.5%と、25.0ポイント高くなっています。

性別でみると、「3時間以上」は男子33.4%、女子22.7%であり、男子が10.7ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問9 インターネットの利用に関する家庭内教育について

インターネットは、使い方によっては危険なこともあるということを、お子さんに教えていますか。(1つに○)

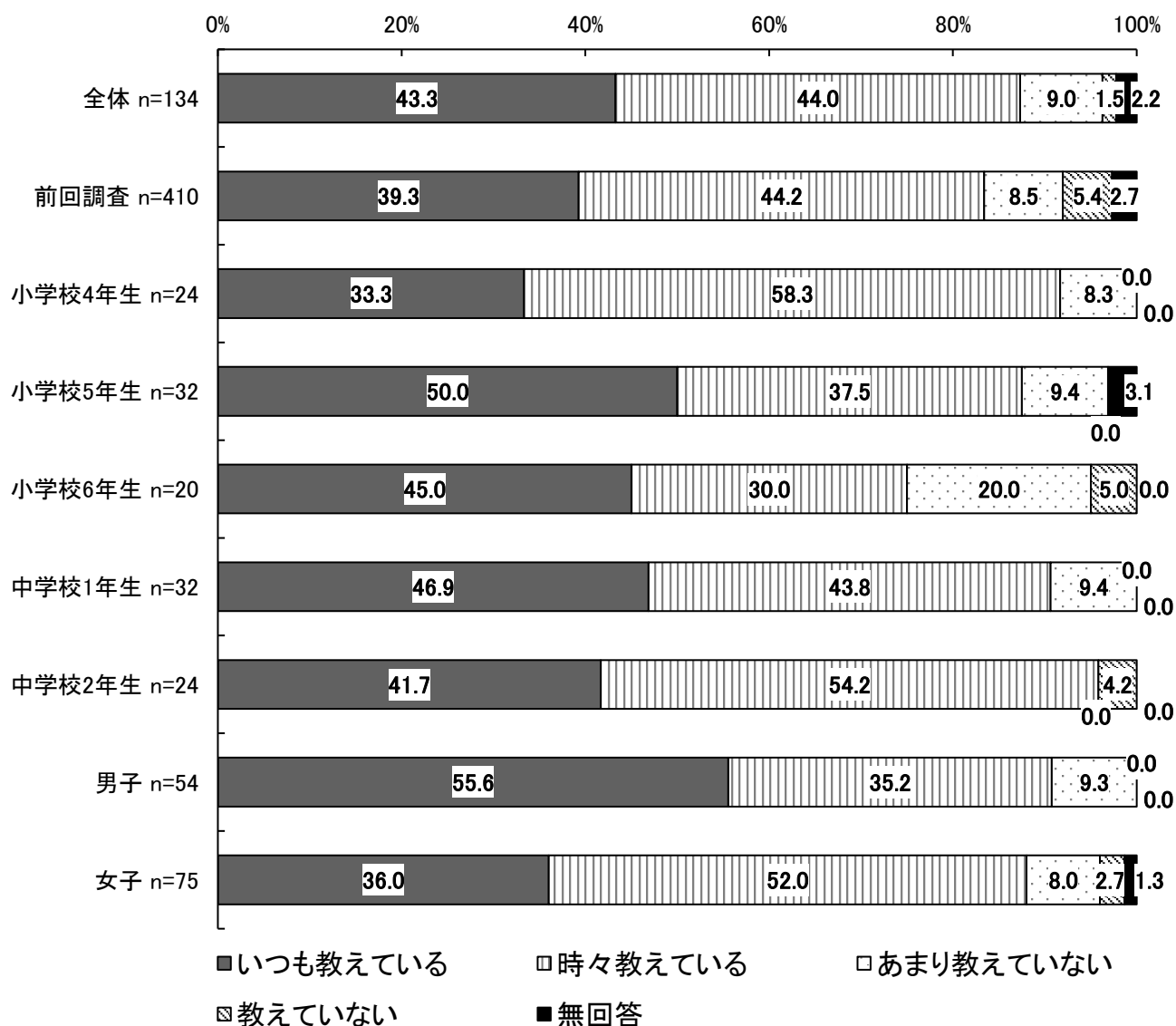
インターネットの利用に関する家庭内教育について、全体では、“教えている”(「いつも教えている」と「時々教えている」の合計。以下同様)は87.3%、“教えていない”(「あまり教えていない」と「教えていない」の合計。)は10.5%となっています。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

学年別にみると、“教えている”は、中学校で1年生90.7%、2年生95.9%と9割を超えています。

性別でみると、“教えている”は、男子90.8%、女子88.0%と大きな違いはみられませんが、頻度では「いつも教えている」が男子55.6%、女子36.0%であり、男子が19.6ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



問10 インターネットの利用によるトラブルについて

お子さんが情報機器のインターネット通信機能を使用したことにより、トラブルが起きたことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

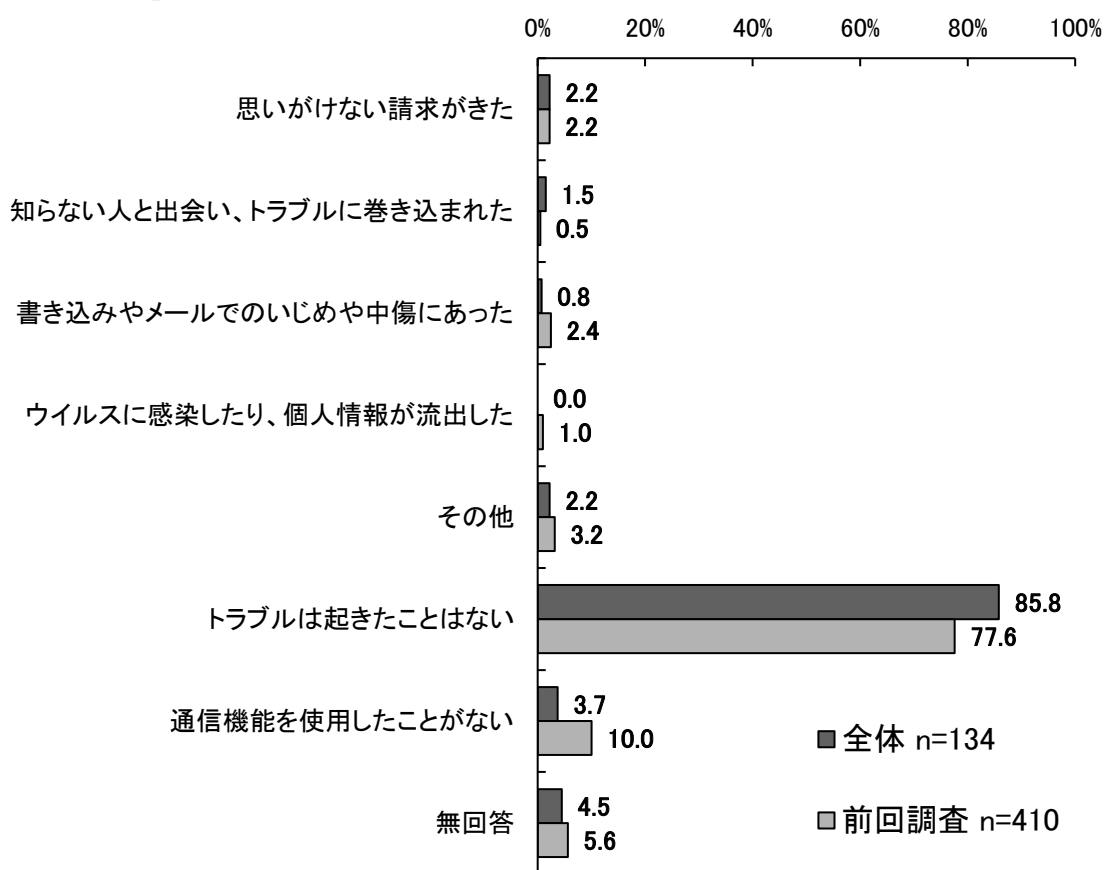
インターネットの利用によるトラブルについて、全体では、「トラブルは起きたことはない」が85.8%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「トラブルは起きたことはない」が8.2ポイント増加しています。

学年別にみると、「思いがけない請求がきた」や「知らない人と出会い、トラブルに巻き込まれた」といった状況が小学校の段階でもみられています。

性別でみると、「トラブルは起きたことはない」は、男子96.3%、女子80.0%であり、男子が16.3ポイント高くなっています。

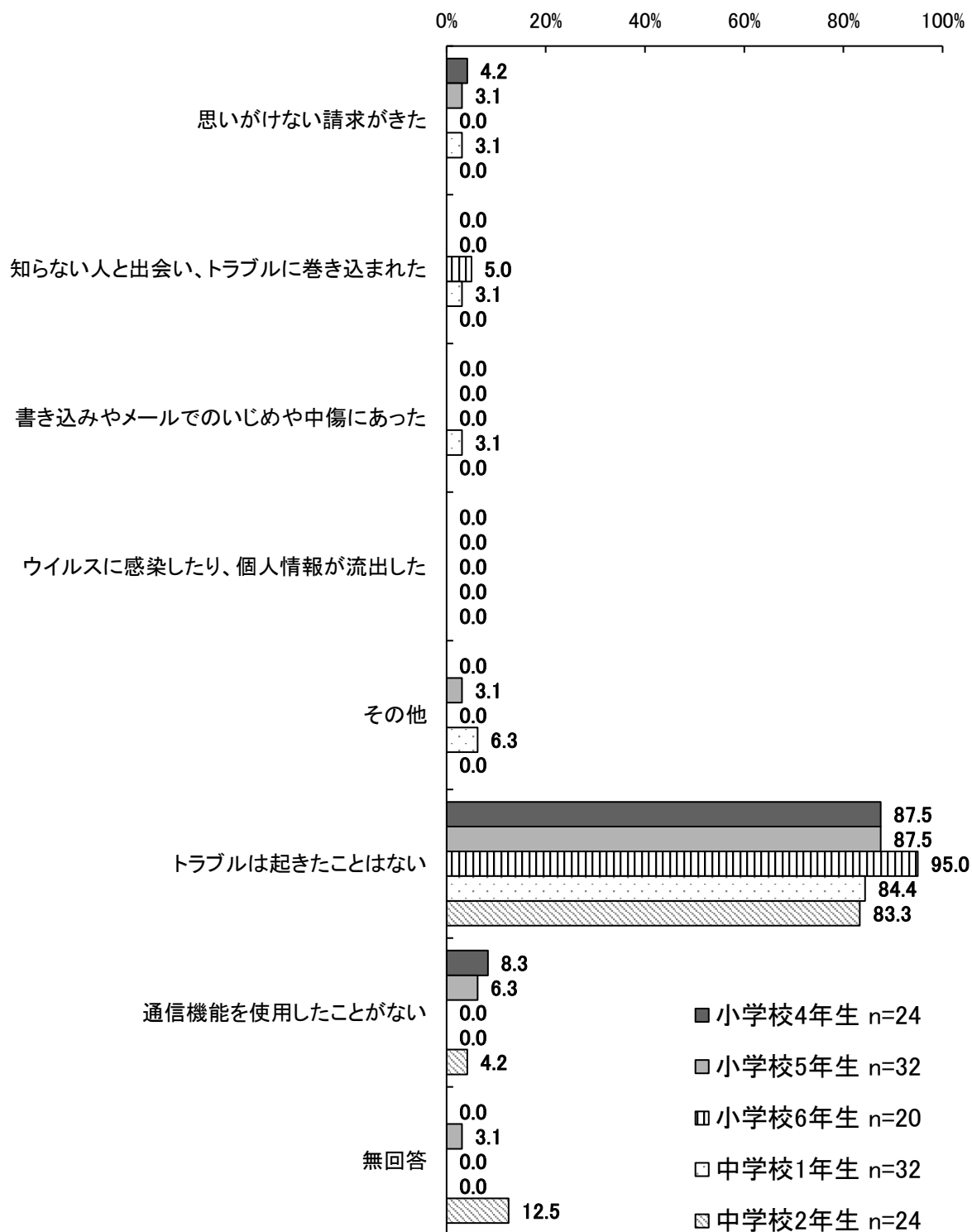
【全体・前回調査】



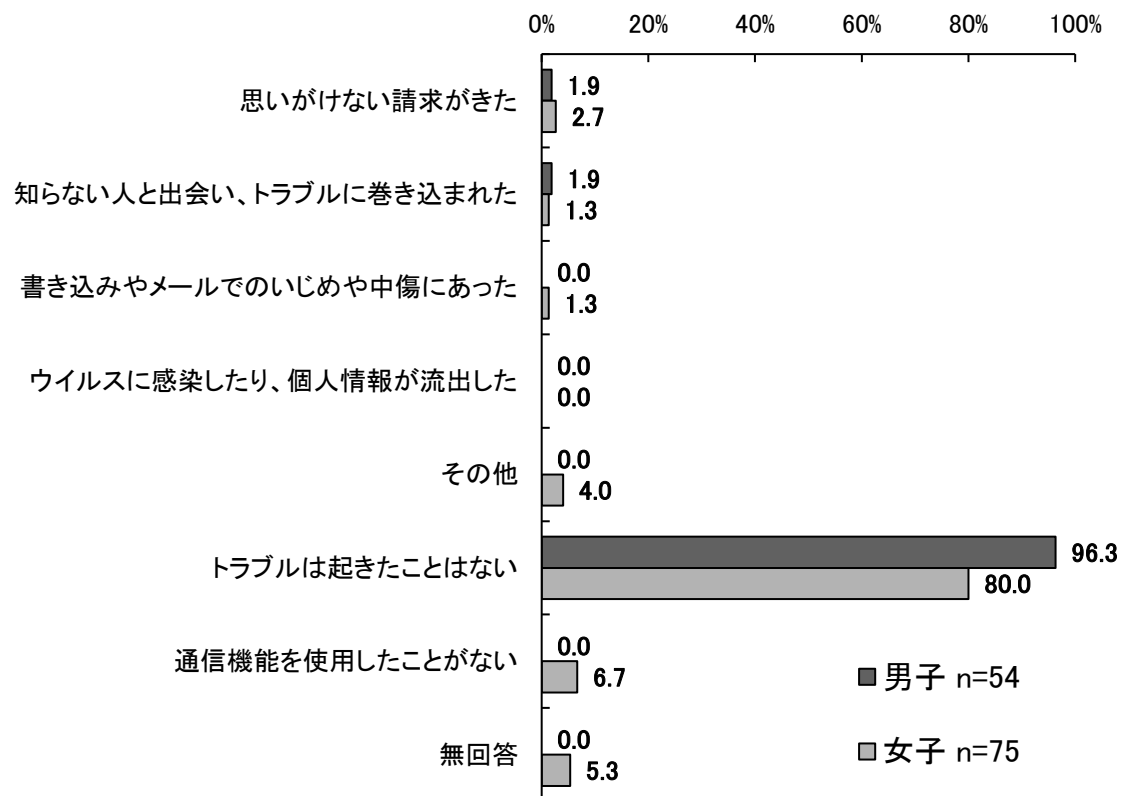
(その他の回答)

- ・知らない間に他アカウントにコメントしていた
- ・注文した商品がなかなか届かなかった

【学年別】



【性別】



問Ⅰ 子育ての悩みや不安について

お子さんのことで、あなたが悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

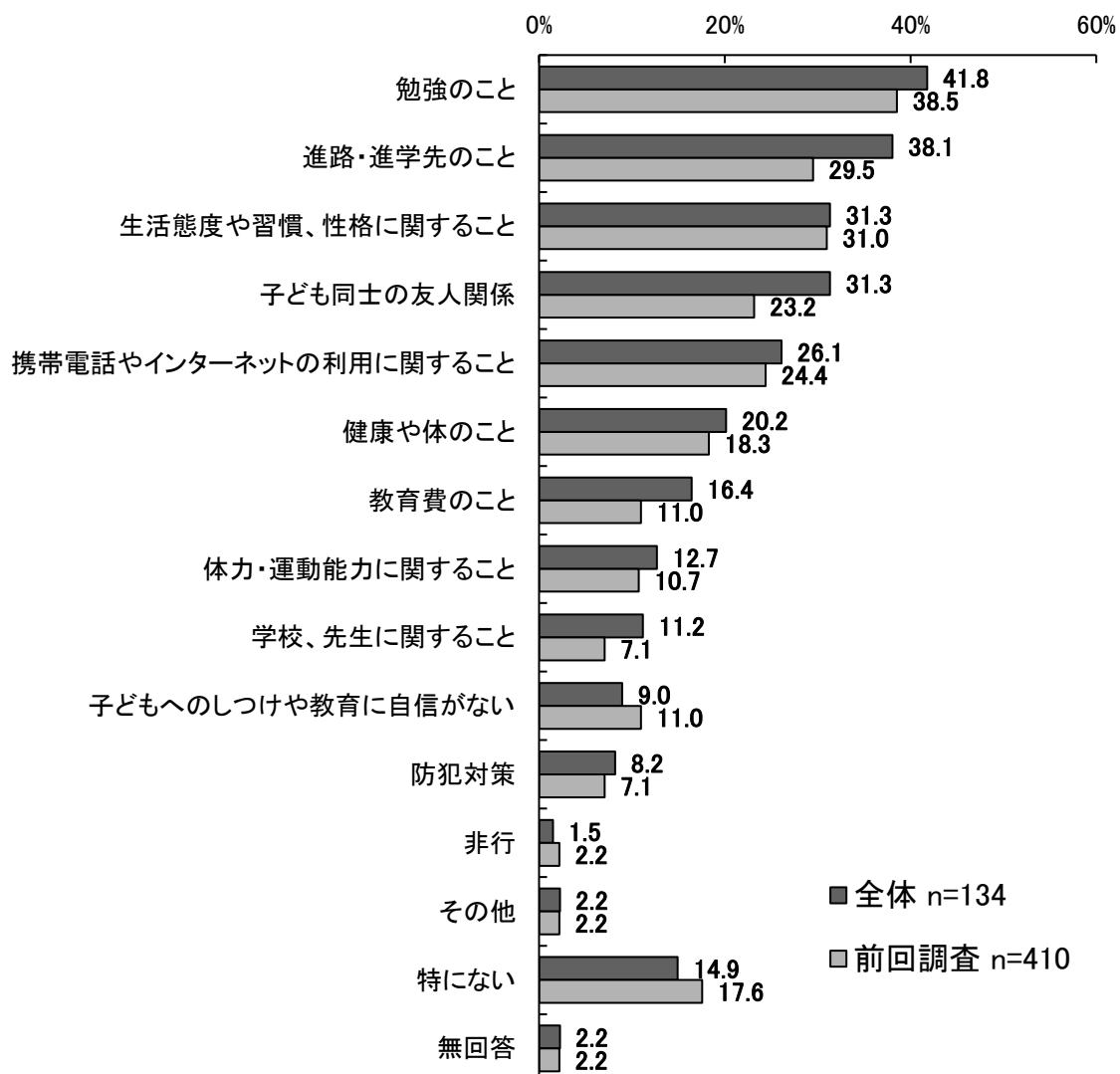
子育ての悩みや不安について、全体では、上位から「勉強のこと」41.8%、「進路・進学先のこと」38.1%、「生活態度や習慣、性格に関すること」31.3%となっています。

前回調査と比較すると、「進路・進学先のこと」が8.2ポイント増加しています。

学年別にみると、「進路・進学先のこと」が中学校1年生で62.5%と他の学年に比べて割合が高くなっています。

性別でみると、「進路・進学先のこと」は男子50.0%、女子30.7%であり、男子が19.3ポイント高くなっています。一方、「携帯電話やインターネットの利用に関すること」は男子20.4%、女子32.0%であり、女子が11.6ポイント高くなっています。

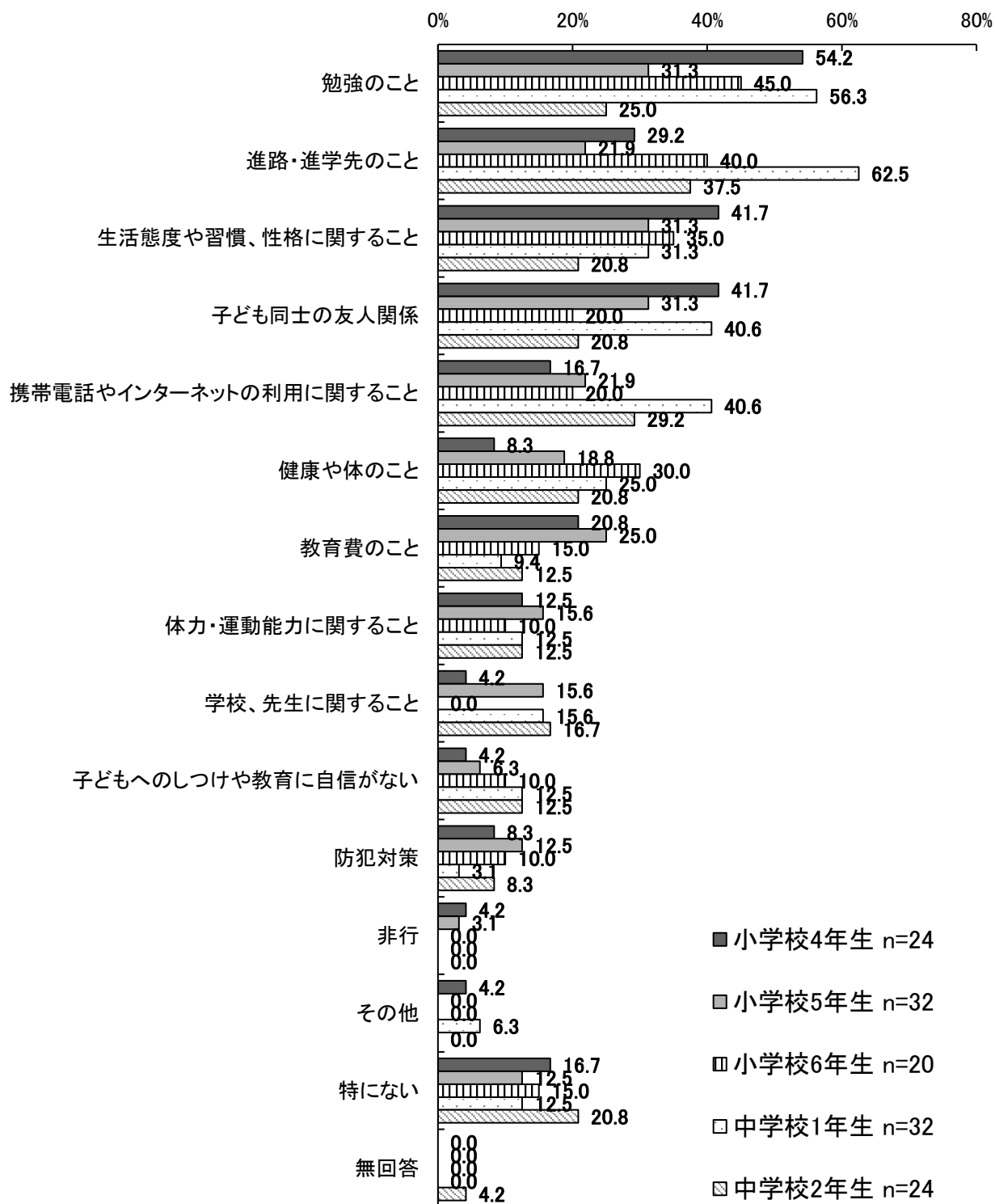
【全体・前回調査】



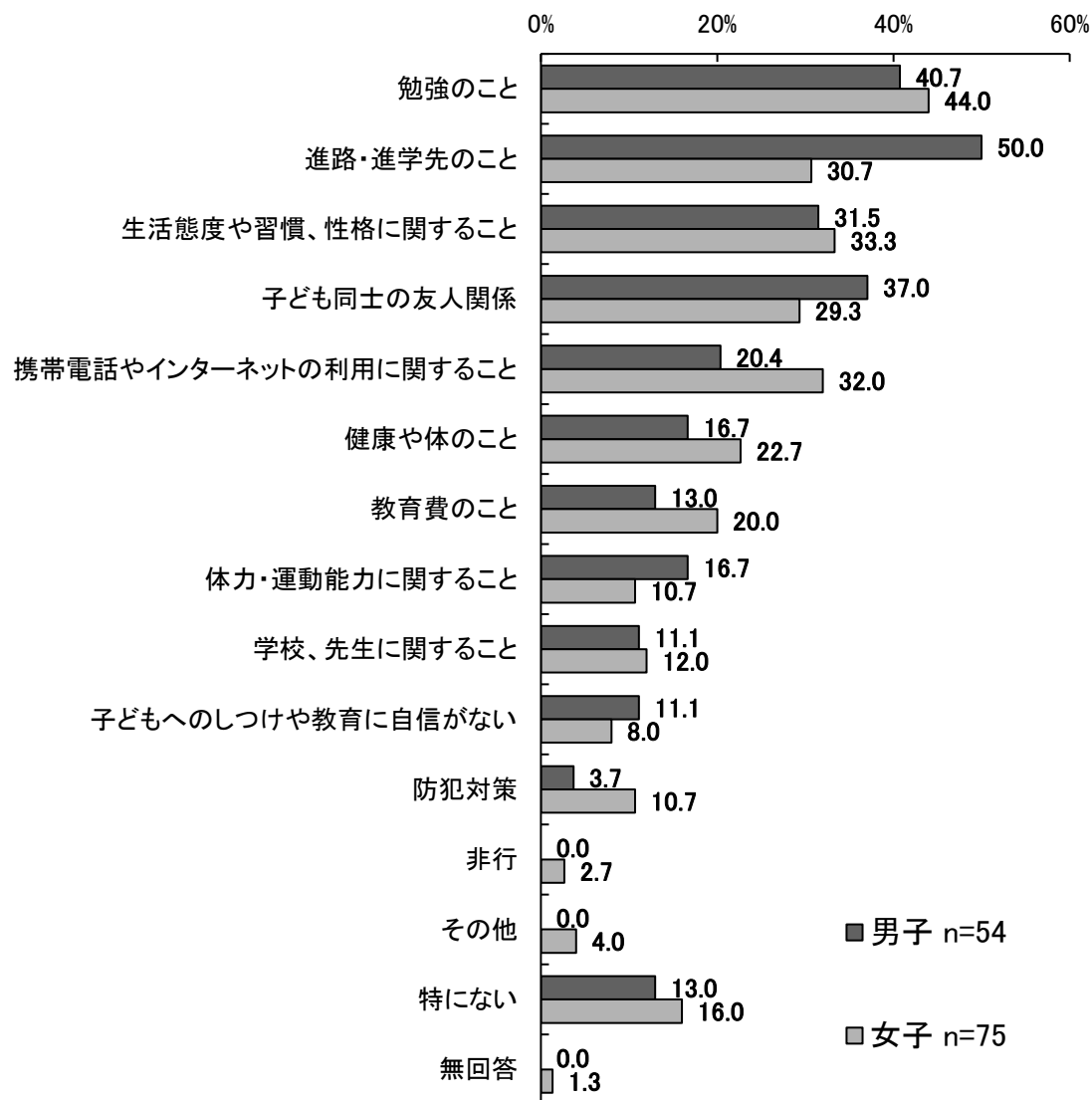
(その他の回答)

- ・ 反抗期
- ・ 心の健康
- ・ 不登校のため、登校できるためのサポートはしつつ、学校教育には拘らず常に良い教育、良い育ちとは何か考え悩みながら実践している

【学年別】



【性別】



問 1 2 悩みや不安の相談相手

子育ての不安について、あなたは誰と相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

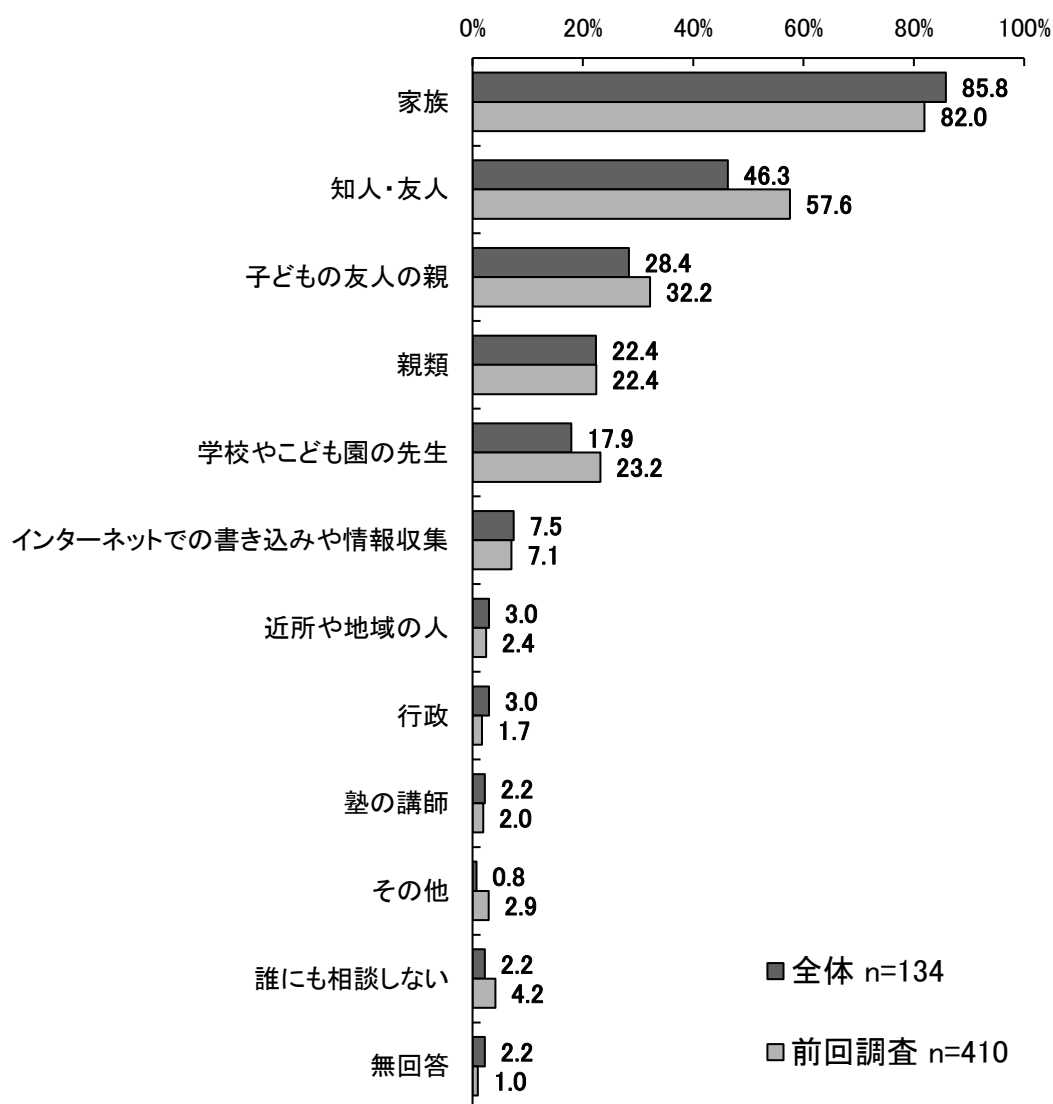
子育ての悩みや不安の相談相手について、全体では、上位から「家族」85.8%、「知人・友人」46.3%、「子どもの友人の親」28.4%となっています。

前回調査と比較すると、「知人・友人」が11.3ポイント減少しています。

学年別にみると、「学校やこども園の先生」が小学校6年生では35.0%と他の学年に比べて割合が高くなっています。また、小学校4年生からの段階で「誰にも相談しない」といった状況もみられています。

性別でみると、「子どもの友人の親」は男子38.9%、女子21.3%であり、男子が17.6ポイント高くなっています。一方、「インターネットでの書き込みや情報収集」は男子3.7%、女子10.7%であり、女子が7.0ポイント高くなっています。

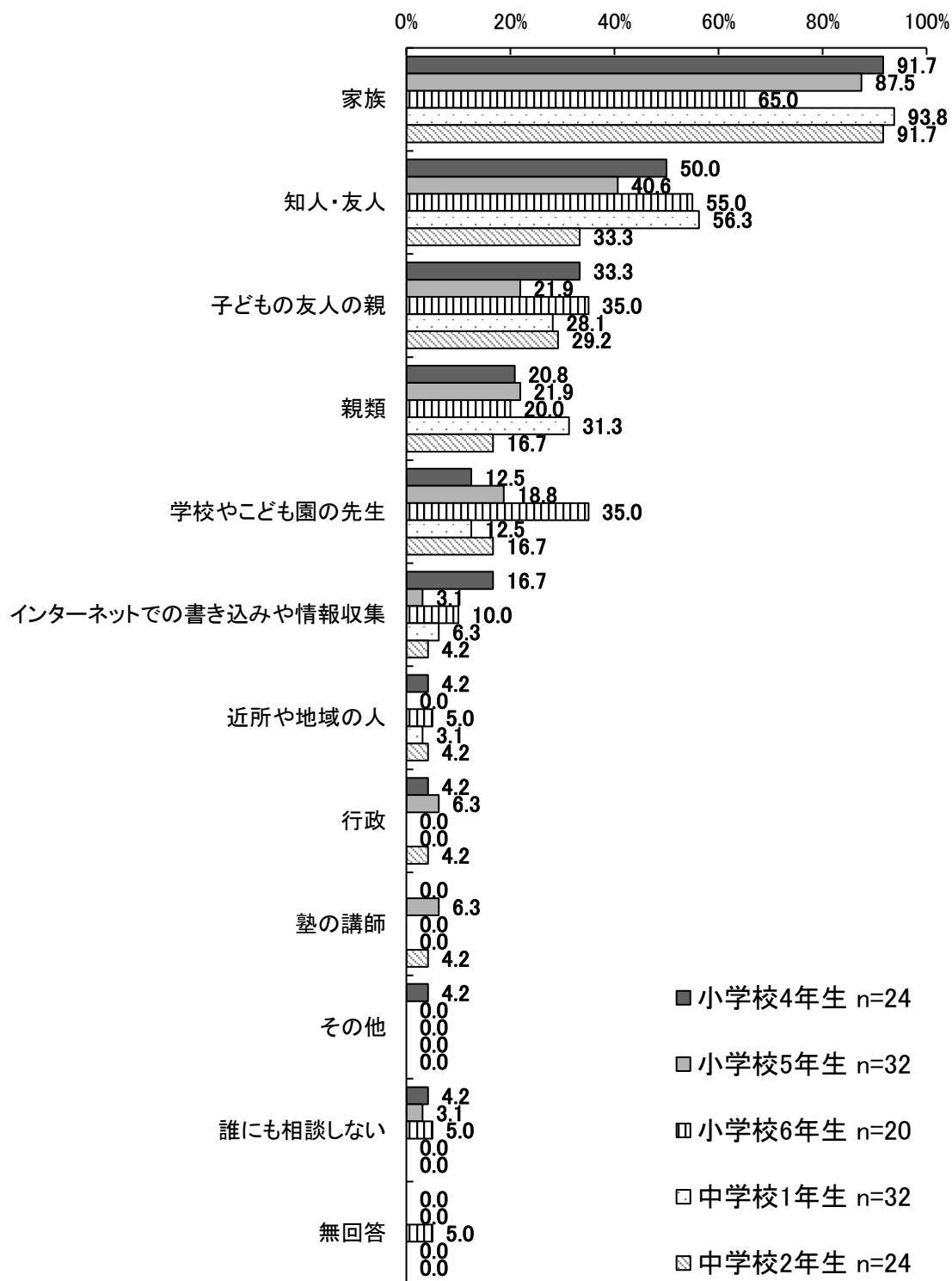
【全体・前回調査】



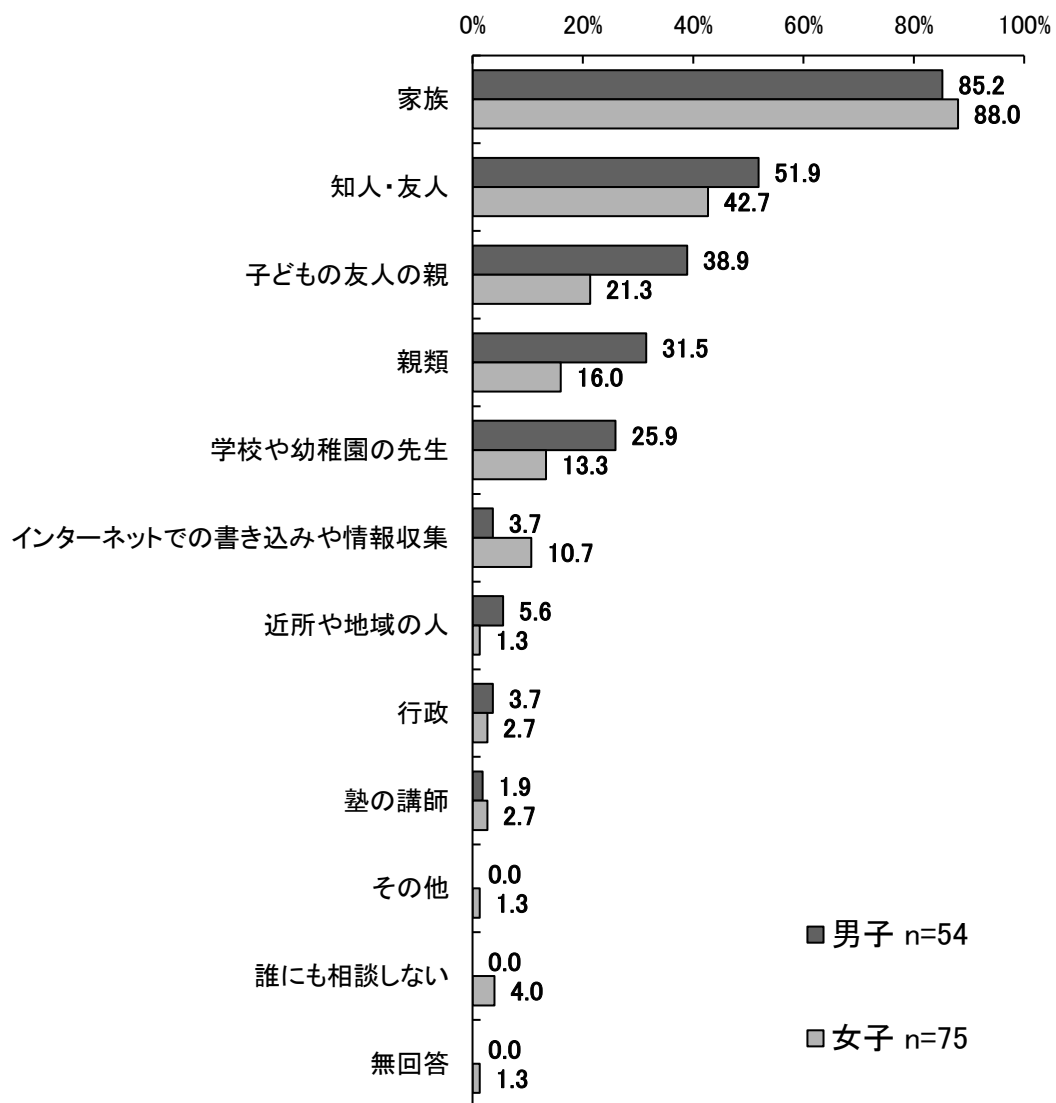
（その他の回答）

・カウンセラー、ChatGPT

【学年別】



【性別】



問 1 3 子どもの高校進学について

あなたは、お子さんの高校進学について、どうお考えですか。(1 つに○)

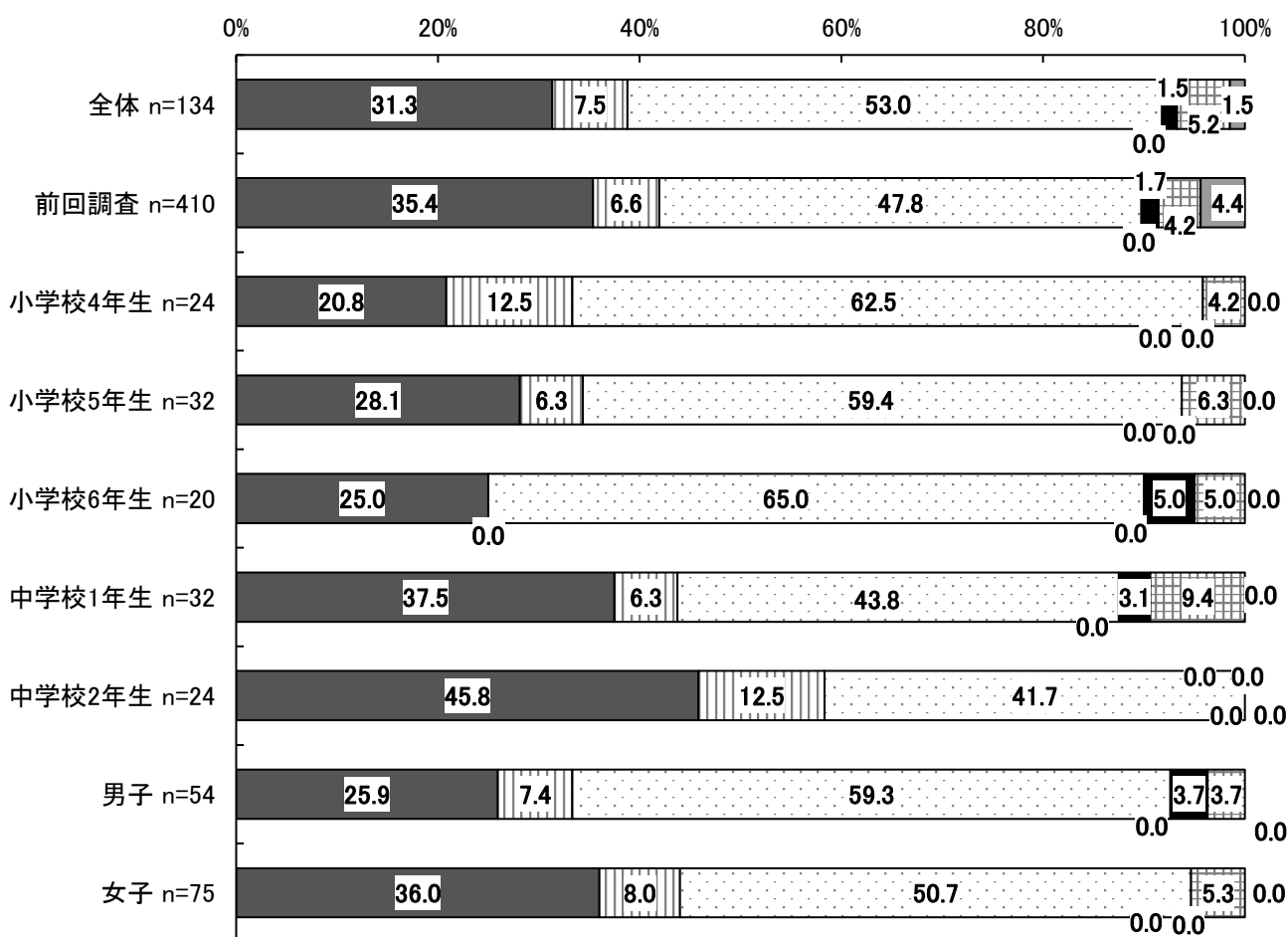
子どもの高校進学について、全体では、上位から「町内外どちらの高校に進学してもかまわない」53.0%、「町内の高校（海部高校）に進学してほしい」31.3%、「町外の高校に進学してほしい」7.5%となっています。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

学年別にみると、「町内の高校（海部高校）に進学してほしい」は、学年が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、小学校4年生 20.8%から中学校2年生には 45.8%と 25.0 ポイント高くなっています。

性別でみると、「町内の高校（海部高校）に進学してほしい」は、男子 25.9%、女子 36.0%と、女子が 10.1 ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



- 町内の高校(海部高校)に進学してほしい
- 町内外どちらの高校に進学してもかまわない
- その他
- 無回答
- ▨町外の高校に進学してほしい
- ▨就職してほしい
- ▨わからない

(その他の回答)

- ・支援学校
- ・転勤族なので町内に住んでいないかもしれない。もしいたら町内

問13-1 子どもの高校進学をそのように考える理由

問13で答えた理由を教えてください。(自由に記入)

理由

◆町内の高校（海部高校）に進学してほしい

- ・ 本人がそう思っているから
- ・ 近いから
- ・ 町外は金銭的に負担が大きい
- ・ 自宅から近いので安心できる
- ・ 町内なら自身の目に届く所でサポートしてあげれるし、こまめに声掛け出来るから
- ・ 少しでも近い方が何かあるときや送り迎えも間に合うから
- ・ 何かあってもすぐに行く事が出来るから
- ・ 本人の希望
- ・ 家から近いから。高校の学費が高いし、寮に入るとその分負担が増えて今以上に家計が苦しくなるから
- ・ 近くがよい
- ・ 食事面で親がフォローしたいから
- ・ 自宅が近いから
- ・ 近くがいいと思うから
- ・ 近くだし、自分で登下校できるから
- ・ 能力的にも他へ行けないと思うから家からバスで通う事が出来る
- ・ 生活の事は親がしてあげれることはして、学業、部活に集中できるといいと思う
- ・ 家から通えるから
- ・ 自宅から近いから。また兄弟が通っているが先生も熱心で、子供たちも楽しそうだから。
- ・ 家から通えるところにあり、子どもが夢を叶えていくのに十分な教育が受けられると思うから。また、通学に時間をかけない分、有意義に時間を使えそうだから。
- ・ 交通費などの理由
- ・ 家から近いと健康に異常が起きたときにすぐにかかけつけれるから
- ・ 地元の高校なので、友達も多いし、やりたい部活があるから
- ・ 他に選択肢がない・おそらく友達のほとんどがそこに行くから
- ・ 自宅から通える距離
- ・ 地元の高校で、通学時間も短く家族も側にいるので安心して学習や部活に力を入れられるから。
- ・ 地元の高校で、通学時間も短く家族も側にいるので安心して学習や部活に力を入れられるから。
- ・ 持病があり、急変や体調変化や体力的に町外へ通学や寮などの生活が大変だからです。
- ・ 自宅から通学できる範囲でいい
- ・ どうしても行きたい高校がなければ（特別な資格とれるやスポーツで行きたい所等）高校生の間は親元で過ごして欲しい 高校卒業後は親元を離れる事になるから

◆町外の高校に進学してほしい

- ・いろいろな事に挑戦してほしい。資格をとったり。将来につながる資格や知識をつけてほしい。
- ・体調が悪いから。通信高で町外の高校にした方がいいと思うから
- ・宗教の学校へ進んでほしい
- ・つまらない町で過ごさせたくない
- ・広い世界を知って欲しい
- ・親の近くにいる、安心ですが、今は、高校に魅力が感じられない。
- ・同級生からのいじめを防ぐため
- ・自分自身がそうだったから。進学率が高いから。塾をはじめ、勉強をする環境やコミュニティが充実しており、選択肢が多い気がするから

◆町内外どちらの高校に進学してもかまわない

- ・本人の意見を尊重したいため
- ・したいことを真剣にかんがえてほしい
- ・自分がつきたい職業にあった高校に行けたらいいと思うから
- ・子供にあった高校に進学してほしい
- ・高校に行ってくればよい
- ・大学受験対応が出来る時に行ってほしい
- ・本人の選んだ道を尊重したい
- ・自分がつきたい職業があった高校に行けたらいいと思うから
- ・子供が行きたいところならどこでもいい。
- ・本人が行きたいといった高校へ行ってほしい
- ・本人の自由にしてほしい
- ・子供の思いを尊重したい
- ・行きたいところに行けばいい
- ・その時にならないとわからない
- ・近くの高校であると安心ですが、海陽町はのんびりとしていて子供に危機感が無いなど感じます。良い環境で安心して教育が受けられるのであれば、場所はどこでもいいと感じます。海部高校の先生方がとても丁寧に進路指導に関わってくださるとよく聞きます。これからもよろしくお願いいたします。
- ・本人の行きたい高校に進学してほしいです
- ・自分の夢や目標につながるならどちらでも応援したい
- ・子供に自由に決めてほしい
- ・本人の学力や目標に応じて決めてほしいから
- ・本人が決める事
- ・本人の希望が一番だから
- ・本人希望の為
- ・子供が考えるのであれば環境が整うことは大切です
- ・本人の希望したところでいいと思っている
- ・自分の行きたいところに行ってもらいたい
- ・本人の意思を尊重する

- ・ 本人の望む学校を選び進学できれば良い
- ・ したいことができる環境が整っていればどこでもいい
- ・ 本人に、任せる
- ・ 一度きりの人生だから後悔しないように自分で考える
- ・ 町内でも自分で通える所に学校が無いので、町外でも良いが、経済的不安がある。町内の高校に行っても、学校が終わる時間に仕事の時間上、送迎が難しい。
- ・ 高校どうすれば良いかわからない
- ・ どちらでもいい
- ・ 子どもがやりたい目標あった学校に行けたらいいと思う。
- ・ 近くに一校しかない為
- ・ 本人の希望を聞きたい
- ・ 自分の行きたいところへいけばいいと思ってます
- ・ やりたいこと、行きたいことによって選択肢はいっぱいあるので県内一つに絞らず、県外に行ってもいいと思っている。
- ・ 自分の興味あることが見つければ、突き進んでほしいから
- ・ 自分でいきたいと思ったところにいってほしい
- ・ 子どもの学力次第で、合う学校に進学して欲しい。
- ・ 明確な理由があるなら、子供の意見を尊重したい
- ・ 本人に合うところであればどこでもいいから。
- ・ 本人が決めること
- ・ 自分のやりたい事が出来る身になる高校へ行って欲しい
- ・ 本人の自由だから
- ・ 本人の行きたい所へ行くのでかまわないから。
- ・ できたら町外に行き、視野を広げてもらいたい
- ・ 将来のことを見据えた選択をしてほしいから
- ・ 子どもが行きたいところに行かせたい。
- ・ 自分がしたい事を見つければ良いと思う。
- ・ 本人の意思を尊重したい。海陽町でやれること、やれないことがある

◆その他

- ・ 知的障害があるから
- ・ 特に町外に行かなければならない理由もないので、友人が多い高校でいいと思うから。もし、息子が何か専門的に学びたい事が出来たらその時は町外の選択性もあり。

◆わからない

- ・ 今の学力がその時になってみないと何とも言えない。
- ・ 子供がどんな目標や夢を持っているのかあまり知らないから
- ・ なにも高校の事をしゃべらないから
- ・ まだ高校の説明会に参加しておらず、各学校の状況が分からないから
- ・ 本人の希望をきいてから考えたい。
- ・ 本人が決める

問14 子どもの将来の居住地について

あなたは、お子さんに海陽町に住んでほしいと思いますか。(1つに○)

子どもに海陽町に住んでほしいかたずねたところ、全体では、上位から「町内外どちらに住んでもかまわない」67.2%、「進学や就職で一度は町を離れても、いずれは海陽町に戻って住んでほしい」14.2%、「町外ですっと住んでほしい」9.0%となっています。

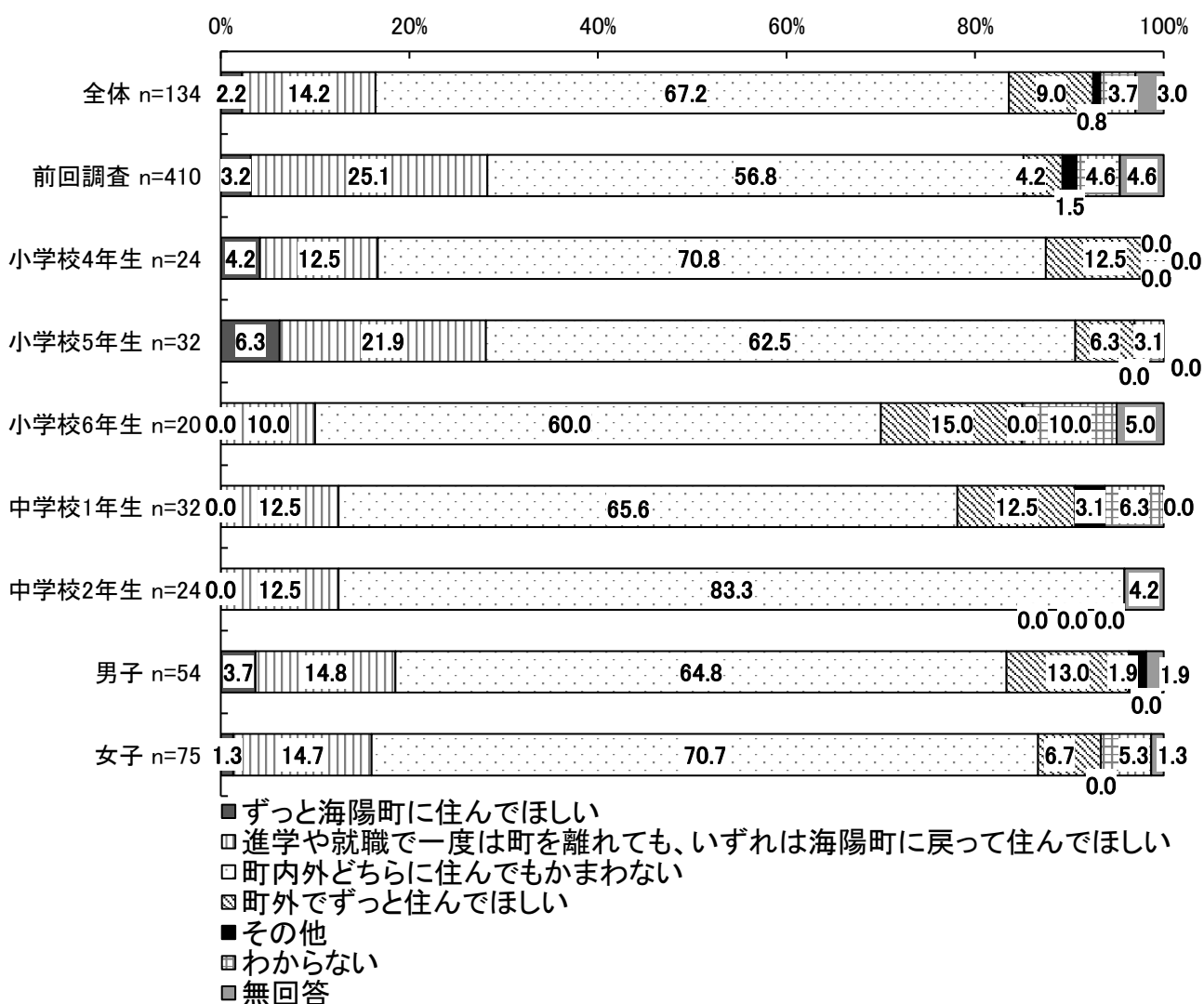
“海陽町に住んでほしい”(「ずっと海陽町に住んでほしい」と「進学や就職で一度は町を離れても、いずれは海陽町に戻って住んでほしい」の合計)は、16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「進学や就職で一度は町を離れても、いずれは海陽町に戻って住んでほしい」が10.9ポイント減少し、「町内外どちらに住んでもかまわない」が10.4ポイント増加しています。

学年別にみると、「町内外どちらに住んでもかまわない」は中学校2年生で83.3%と他の学年に比べて割合が高くなっています。また、「ずっと海陽町に住んでほしい」は小学校6年生から中学校2年生の各学年からの回答がない状況となっています。

性別でみると、「町外ですっと住んでほしい」が、男子13.0%、女子6.7%であり、男子が6.3ポイント高くなっています。

【全体・前回調査・学年別・性別】



(その他の回答)

- ・親が転勤族なので転校の予定あり

問Ⅰ４－Ⅰ 子どもの将来の居住地をそのように考える理由

問Ⅰ４で答えた理由を教えてください。(自由に記入)

理由

◆ずっと海陽町に住んでほしい

- ・海陽町で貢献してほしい
- ・何かあれば協力して生活できるから
- ・簡単に人を傷つけたり殺したりする人たちがたくさんいるので少しでも知り合いの多い育った町で安心して住んでほしいから

◆進学や就職で一度は町を離れても、いずれは海陽町に戻って住んでほしい

- ・自分の生まれ育った町を大切にしてほしいので、いずれは海陽町に戻ってきてほしい
- ・子供には近くでいてほしい
- ・色々な経験をし、たくましくなってもどってきてほしい
- ・本人が帰ってきたいと言っているから
- ・場所にこだわらず、社会の一員として役に立てるようになってほしいです。
- ・自分の生まれ育った町を大切に思っていてほしいのでいずれかは戻ってきてほしい
- ・子供が女の子ばかりなのでいずれは帰ってきてほしい
- ・子供自身も海陽町が好きで伝統文化を大切にしているから
- ・海陽町のような田舎が好きと言っています
- ・たくさんの経験をする事で成長できる
- ・子育て環境がいいから
- ・海陽町が自分は好きだから
- ・海陽町は自然が多く空気もいい、食べ物おいしいし農地もある、海陽町で働けたら、地元で暮らしてもらいたい
- ・色々な経験をした上で、両親共に好きな海陽町を、子供自身が帰って来て家族を作っていきたいと思って欲しいから。
- ・近くにいる方が安心だから。
- ・一度は外へ出て、徳島の良さを知り帰って来て欲しい

◆町内外どちらに住んでもかまわない

- ・すきに決めてほしい
- ・就職先が町外の場合もあるので
- ・子供自身が海陽町に魅力を感じ、住みたいと思えば住んでもいいと思うが、生活していく上で仕事があるかどうかを考えると町外でもいいと思う。
- ・何れ戻ってきてほしいとも思うが仕事の心配もあるし本人に選んでほしい
- ・良い町、帰ってきたい街だと思ったら帰ってくるし、それまでは町外でいろいろ経験してほしい。

- ・就職先が町外の場合もあるから
- ・自分の好きなところに住んでほしいが出来たら徳島県内がいい
- ・自分の決めた道が町内では無理ならもちろん町外へ行くと思う
- ・近くがいいとも思うが好きにしてほしい
- ・子供の人生は子どものもの。住みたいと思う場所で生き生きと生きてほしい
- ・本人の意思、やりたいこと、行きたいところを尊重しているため
- ・地域を「ここ」としてしまうと働くところが無いかもしれないから
- ・本人の希望による
- ・自分のしたい事をしてほしい
- ・子供のしたいことをさせたいから
- ・本人が幸せに暮らせるならよい
- ・本人の自由
- ・自分で決めた方がいい
- ・本人次第です。じぶんのしたいことがここじゃないところにあるなら戻ってほしいとは言いません。
- ・本人の意思を尊重
- ・自分の行きたい、住みたいところで良いと思う。就職先も広がるから
- ・本人の自由で本人が決めたらい
- ・特に海陽町にという思いはない
- ・自分の好きなことをして欲しい
- ・町内は企業がないので、大学を卒業できたとしても、スキルをいかせる仕事があるとは限らない
- ・結婚すると思うから
- ・子どもが好きな所で自由に暮らして欲しい
- ・本人に任す
- ・好きなところで楽しく過ごしてくれれば
- ・働く選択肢によりどちらでも良い。子供に選んで欲しい。
- ・子供の望むことをしてほしいから。
- ・子どもが自分らしく生きられる場所で生活できればいいと思うから。
- ・海陽町はいい所だが。海陽町内の銀行支店や車販売店が無くなったり、免許更新講習ができなかったり、早朝や遅い時間の汽車、日和佐までバスで行けなかったり不便が増えたり、感じたりしているから。
- ・海陽町は自然豊かで人も優しくいい面はあるが、仕事に限られてくる。本人の活躍できる地域を選択してほしい
- ・いろんなことに興味を示して欲しいので
- ・やりたい仕事があるかわからない。
- ・自分の道は自分で進んでください
- ・自分の住みたいと思うところで住めばいいと思うから。
- ・仕事先がない
- ・自分で自立をしてしたいことができる場所ならどこでも良い。特に、これといったのこだわりなし。
- ・親が決めることではないので

- ・本人が行きたいところに行ったらいいと思う
- ・自分で考えて住みたいところに住んでほしい
- ・近くにいて欲しい気持ちもあるが、本人の意思を尊重したい。
- ・将来就いた仕事次第で、町内外に住むことになるであろうから。
- ・仕事による
- ・広いものの見方をしてほしいから
- ・海陽町は良い町で安心ですが、本人次第です。
- ・本人が決めること
- ・やりたい事が出来る場所に行くべきだ
- ・子ども自身の考えで、望んだ道に進んでほしいから。
- ・働きたい職種によるため
- ・本人の意思を尊重したいから
- ・自分に合った仕事が出来るところに住めばいい
- ・持ち家がないから、好きな場所で暮らしてほしい
- ・自分が過ごしやすい、合う場所で生活して欲しい
- ・自立して、自分の能力を活かした生き方ができることを願っているから
- ・出来れば徳島県内がいいが、行きたいところに行かせたい。
- ・本人の意思を尊重したい。海陽町でやれること、やれないことがある

◆町外でずっと住んでほしい

- ・何事にも選択が多い所、便利な所で過ごしてほしい
- ・町外の方が仕事がある
- ・仕事が無いから
- ・就職先がない
- ・世間を見てほしい
- ・広い世界を見せたいから
- ・何も身に付かない
- ・田舎は挑戦出来る環境や機会が少ないと感じるため。
- ・狭い所ではなく、色々出て体験してほしいから
- ・過疎化が激しく津波の心配もある
- ・津波など災害の不安があるから。

◆その他

- ・転校の予定があるので。もし仮にずっと町内にいたら、進学や就職で一度町外に出るべきだとは思う。その後のことは町内に住むか町外に住むかは自由である。

◆わからない

- ・本人の好きなようにしてもらいたいから
- ・親としては近くにいて欲しいが、親の希望より本人の意思を尊重すべきだと思っているので
- ・理想は住んで欲しいが…現実が違う（仕事など）